

# 内外経済動向

2024年1月

# 世界銀行 経済見通し（2024年1月9日公表）

- 1月9日に公表された世界銀行の経済見通しでは、24年の世界の実質成長率見通しは2.4%と、23年の2.6%を下回り3年連続で減速すると予想。25年は2.7%と前回から下方修正された。主要国の金融引き締め政策の影響や世界的な貿易・投資の低迷、地政学リスクの高まりにより新型コロナウイルス禍後の回復が圧迫されており、最貧国を中心とする多くの発展途上国が大きな打撃を受けるとの見方が示された。

	2024年成長率見通し			
	世界銀行		(参考) IMF	(参考) OECD
	(2023年6月)	(2024年1月)	(2023年10月)	(2023年11月)
世界	2.4%	→ 2.4%	2.9%	2.7%
先進国	1.2%	→ 1.2%	1.4%	-
日本	0.7%	↗ 0.9%	1.0%	1.0%
米国	0.8%	↗ 1.6%	1.5%	1.5%
ユーロ圏	1.3%	↘ 0.7%	1.2%	0.9%
新興国・途上国	3.9%	→ 3.9%	4.0%	-
中国	4.6%	↘ 4.5%	4.2%	4.7%
インド	6.4%	→ 6.4%	6.3%	6.1%
ロシア	1.2%	↗ 1.3%	1.1%	1.1%

世界銀行	
2025年成長率見通し	
(2023年6月)	(2024年1月)
3.0%	↘ 2.7%
2.2%	↘ 1.6%
0.6%	↗ 0.8%
2.3%	↘ 1.7%
2.3%	↘ 1.6%
4.0%	→ 4.0%
4.4%	↘ 4.3%
6.5%	→ 6.5%
0.8%	↗ 0.9%

(資料) World Bank「Global Economic Prospects」(January 2024)、OECD「Economic Outlook」(November 2023)、IMF「World Economic Outlook」(October 2023)

※(前回見通しと比較して) ↑: 上方修正、↓: 下方修正、→: 横ばい。

※ハイライトは今回公表分

**日本經濟**

米**国**經濟

中**国**經濟

欧**州**經濟

# 12月月例経済報告の概要（12/19公表）

## ＜総括判断＞（据え置き）

今月

景気は、このところ一部に足踏みが見られるが、緩やかに回復している。

（本年11月） 景気は、このところ一部に足踏みが見られるが、緩やかに回復している。

（本年5～10月） 景気は、緩やかに回復している。

（本年3・4月） 景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

（本年1・2月） 景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

（昨年7～12月） 景気は、緩やかに持ち直している。

## ＜先行き＞（前月から変更なし）

今月

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。

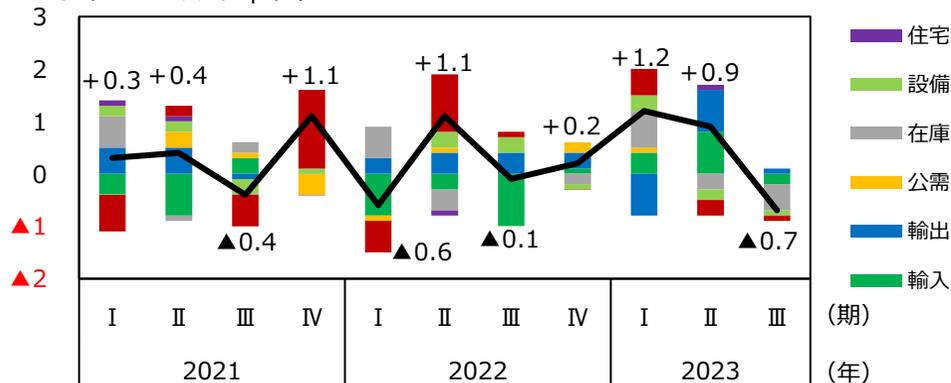
ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域を巡る情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

# GDP

- 2023年7-9月期実質GDP（2次速報値）は、民間在庫や設備投資、民間消費等のマイナス寄与により、前期比▲0.7%（年率▲2.9%）と、4四半期ぶりのマイナス成長。
- 実質で558兆円（年率換算）、名目で595兆円（年率換算）。

## 実質GDPの成長率の推移

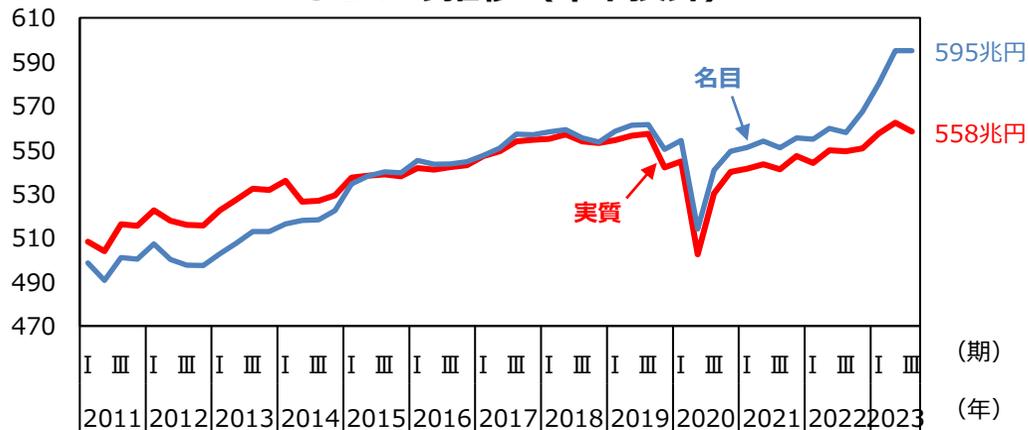
(前期比 (%), 寄与度 (%pt))



(資料) 内閣府「国民経済計算」2023年12月8日公表（2次速報値）

(兆円)

## GDPの推移（年率換算）



(注) 実質GDPは2015年基準

(資料) 内閣府「国民経済計算」2023年12月8日公表（2次速報値）

## 実質GDPの成長率の内訳

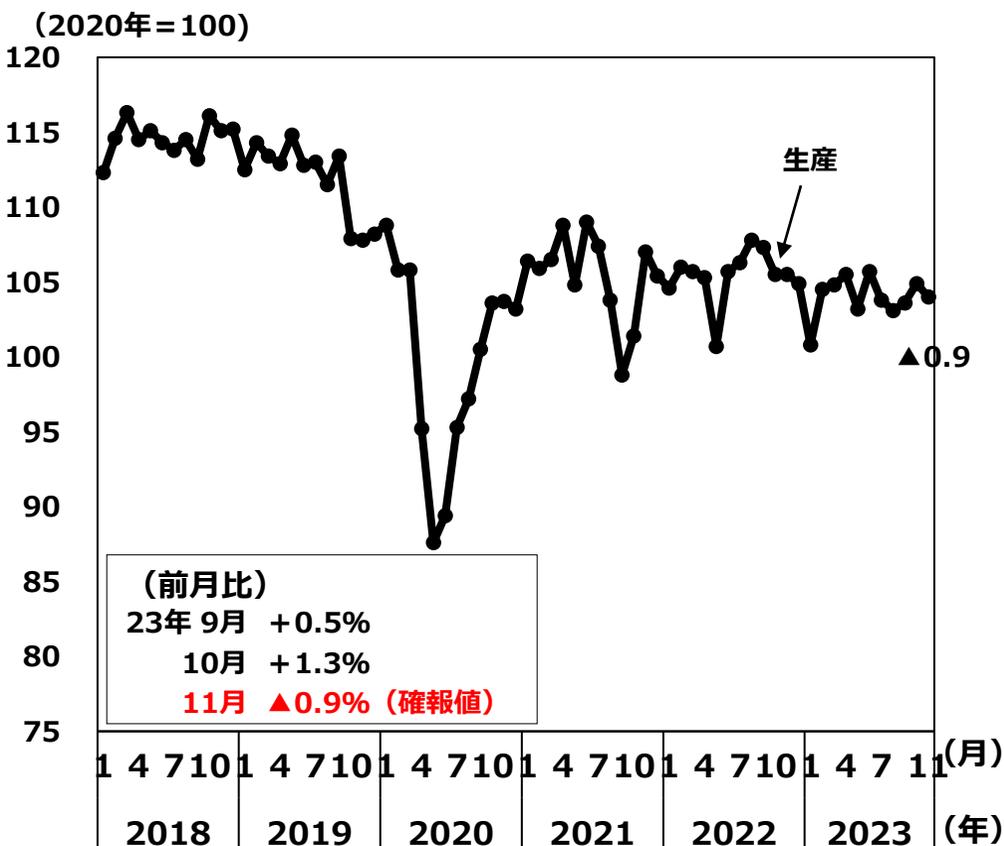
	前期比 (%)		寄与度 (%pt)	
	1次速報	2次速報	1次速報	2次速報
<b>実質GDP</b> (年率)	▲0.5	▲0.7		
<b>内需</b>	▲0.4	▲0.6	(▲0.4)	(▲0.6)
<b>民需</b>	▲0.6	▲0.9	(▲0.4)	(▲0.6)
民間消費	▲0.0	▲0.2	(▲0.0)	(▲0.1)
住宅投資	▲0.1	▲0.5	(▲0.0)	(▲0.0)
設備投資	▲0.6	▲0.4	(▲0.1)	(▲0.1)
民間在庫	—	—	(▲0.3)	(▲0.5)
<b>公需</b>	0.2	0.1	(0.0)	(0.0)
政府消費	0.3	0.3	(0.1)	(0.1)
公共投資	▲0.5	▲0.8	(▲0.0)	(▲0.0)
<b>外需</b>	—	—	(▲0.1)	(▲0.1)
輸出	0.5	0.4	(0.1)	(0.1)
輸入	1.0	0.8	(▲0.2)	(▲0.2)
<b>名目GDP</b> (年率)	▲0.0	▲0.0		
GDPデフレーター(前年同期比)	5.1	5.3		

(資料) 内閣府「国民経済計算」2023年12月8日公表（2次速報値）

# 生産

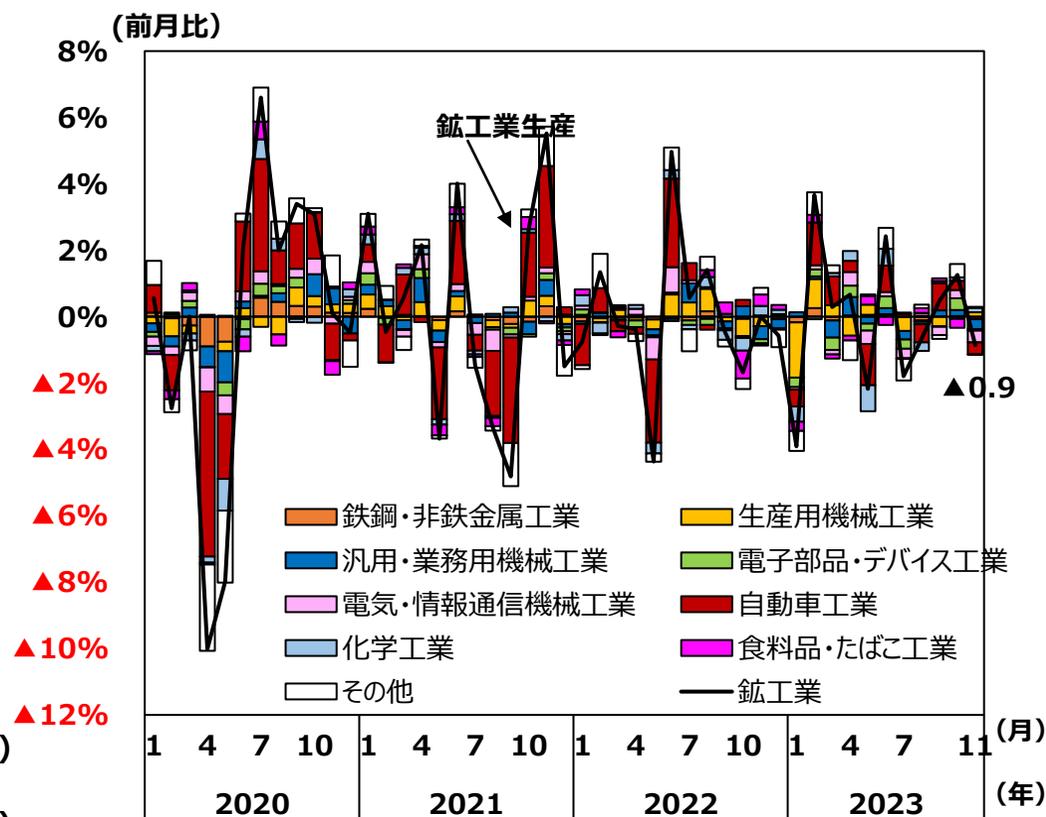
- 23年11月は、前月比▲0.9%と3ヶ月ぶりの低下。自動車工業がこれまでの伸びの反動などを受けて低下したほか、多くの業種が低下。一方、生産用機械工業は、上昇幅は小さいものの2ヶ月連続の上昇。先行きは、12月上昇、1月は低下の見込み。
- 23年11月の生産の基調判断は、「生産は一進一退」（据え置き）。

## 鉱工業指数の推移



(注) 季節調整値  
 (資料) 経済産業省「鉱工業指数」2024年1月18日公表 (確報値)

## 変動要因 (業種別)



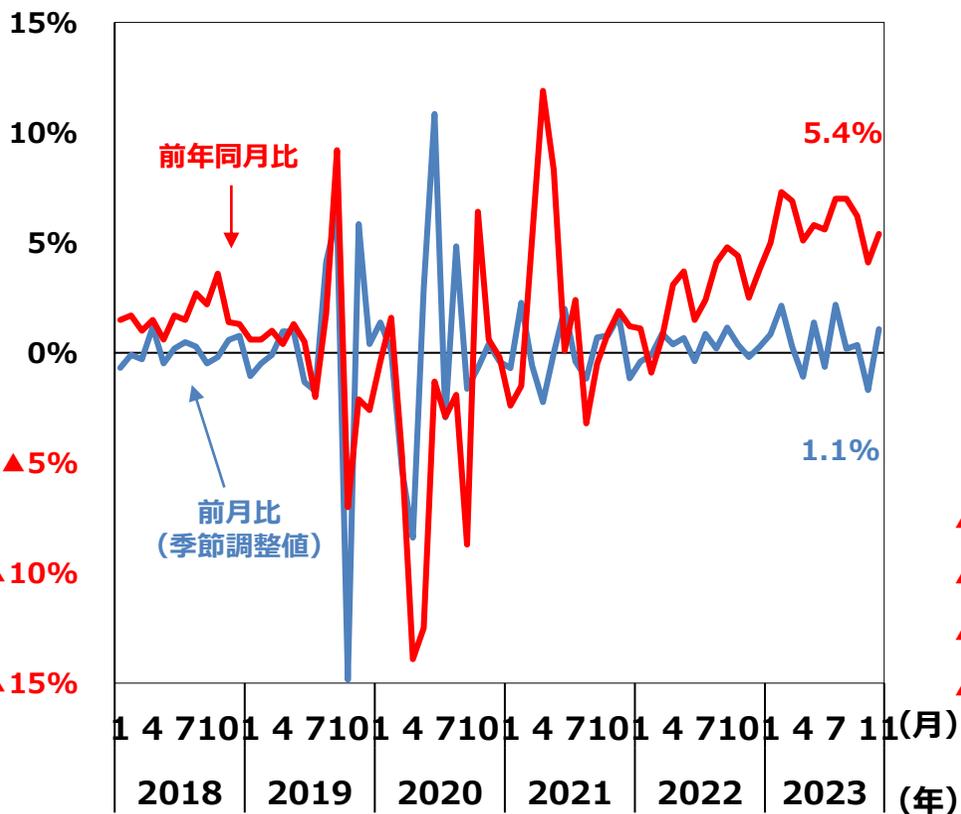
(注) 季節調整値  
 (資料) 経済産業省「鉱工業指数」2024年1月18日公表 (速報値)

# 消費①

- 23年11月の小売業販売額は、13.8兆円。前年同月比は+5.4%で21か月連続の増加となり、前月比は+1.1%で2か月ぶりの増加となった。
- 主要な業態である百貨店、コンビニ、スーパーは、いずれも前年同月比で増加となった。

## 小売業販売額

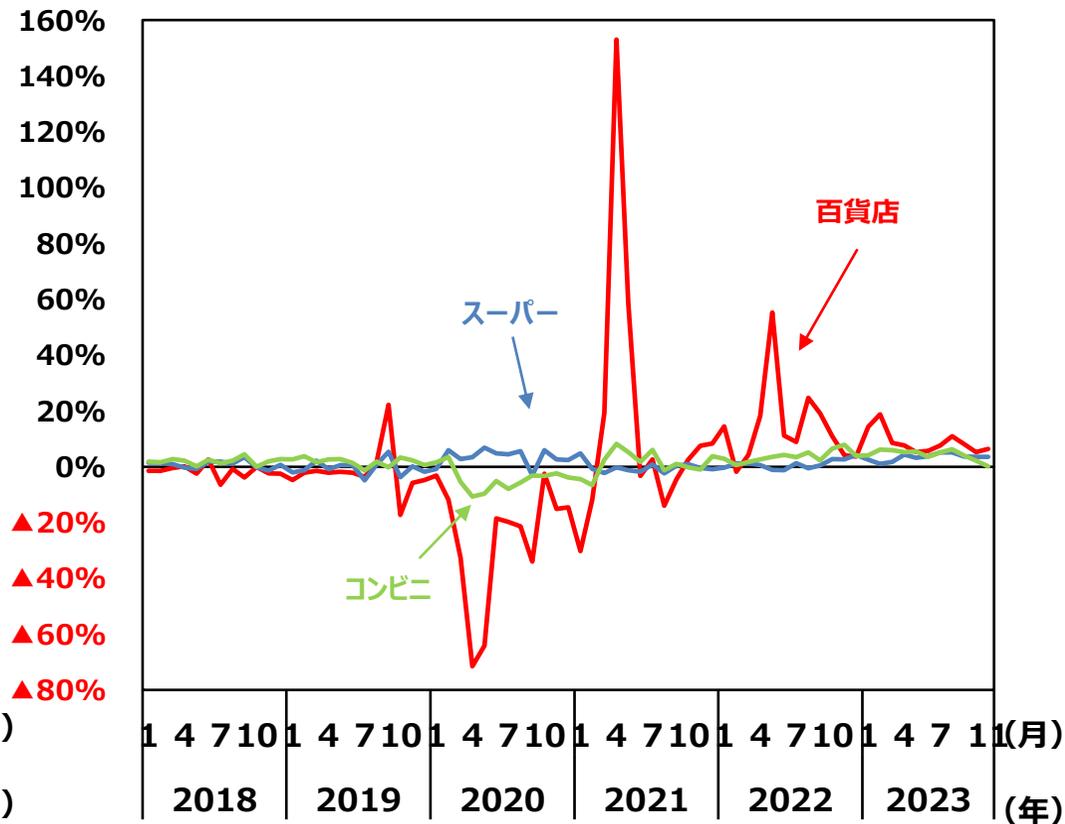
(前年同月比、前月比)



(資料) 経済産業省「商業動態統計」2024年1月16日公表 (確報値)

## 百貨店・スーパー・コンビニ (全店)

(前年同月比)



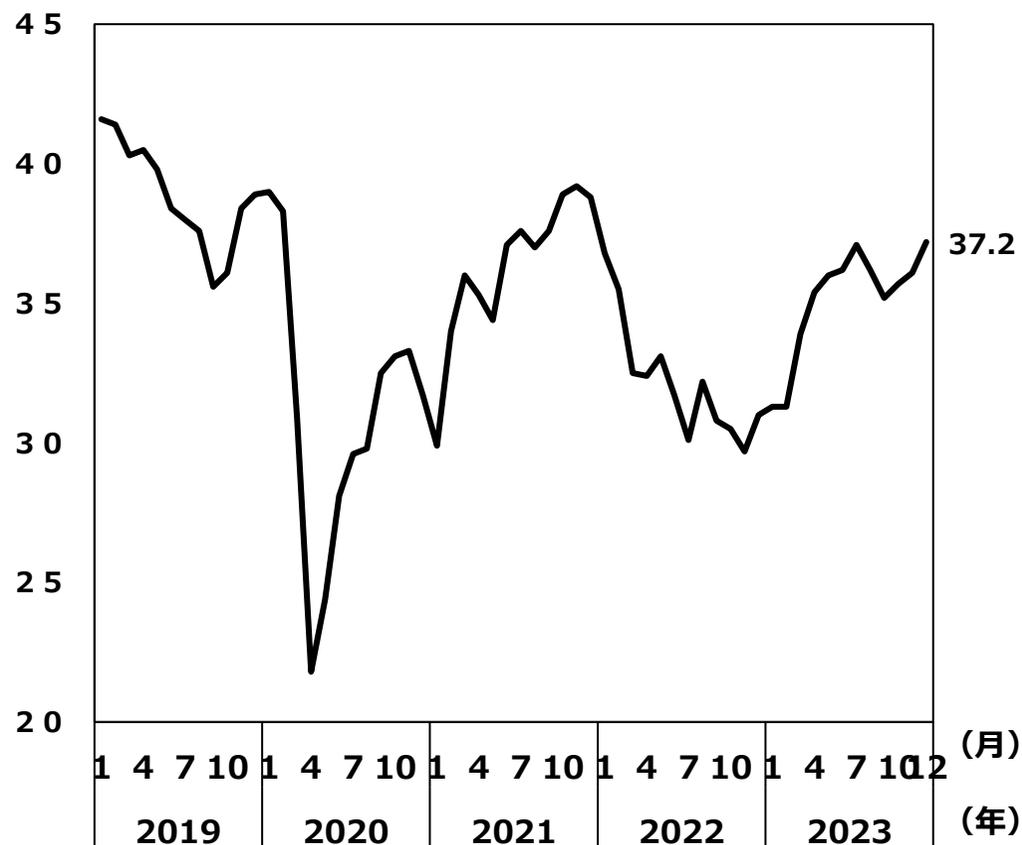
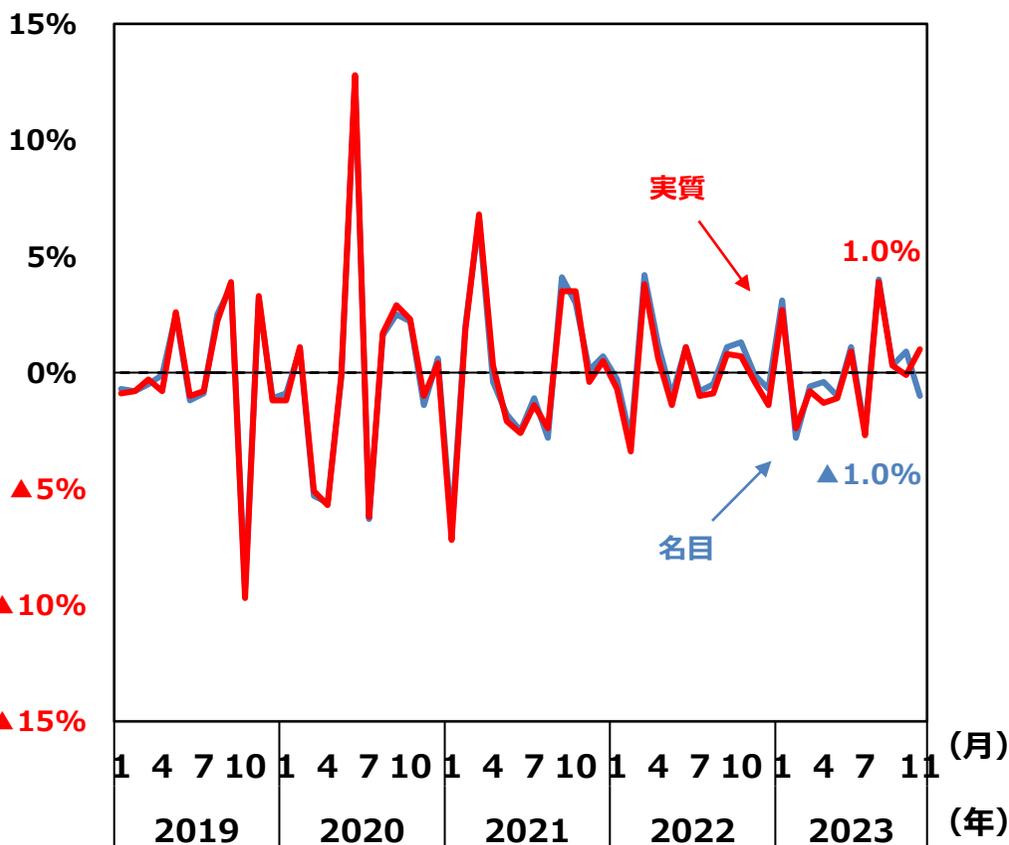
(資料) 経済産業省「商業動態統計」2024年1月16日公表 (確報値)

## 消費②

- 23年11月の実質家計消費支出は前月比+1.0%と、2か月ぶりのプラス（前年同月比は▲2.9%と9か月連続のマイナス）。なお、名目家計消費支出は前月比▲1.0%（前年同月比は+0.3%）。
- 消費者マインドは、改善に向けた動きがみられる。

(前月比) 家計消費支出の推移

消費者態度指数

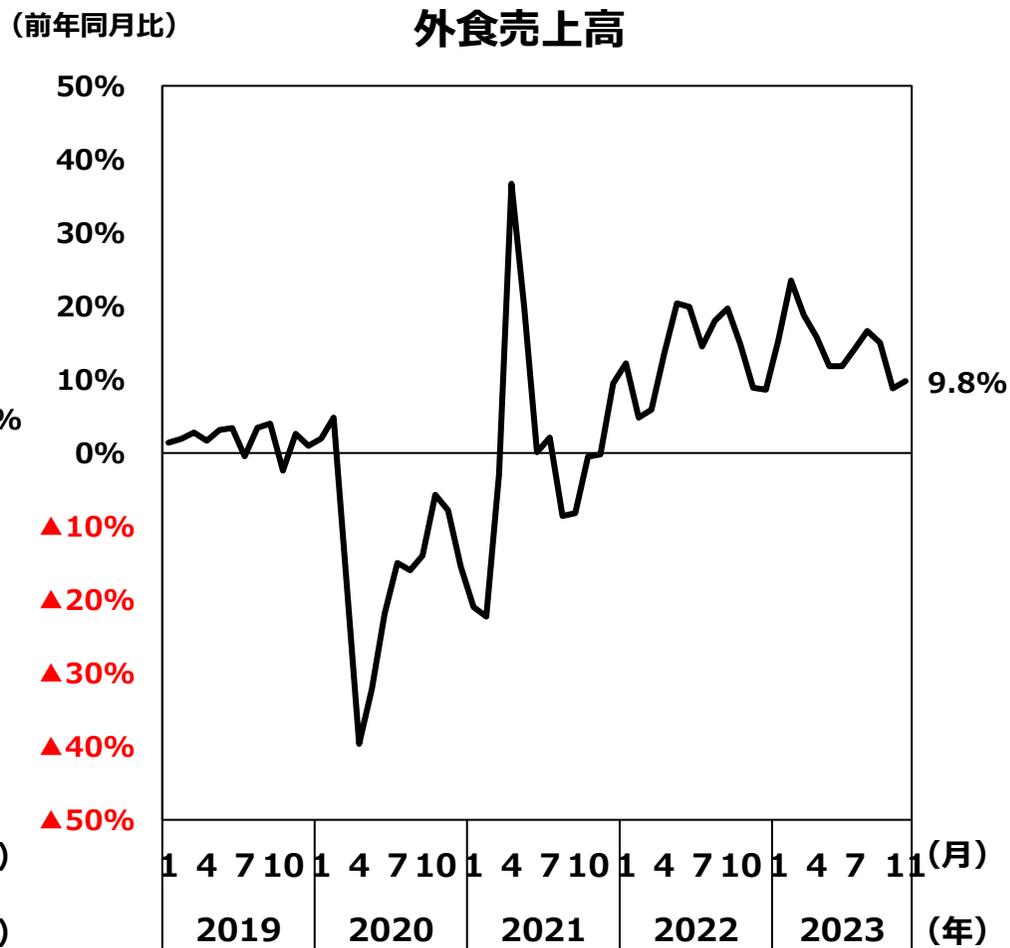
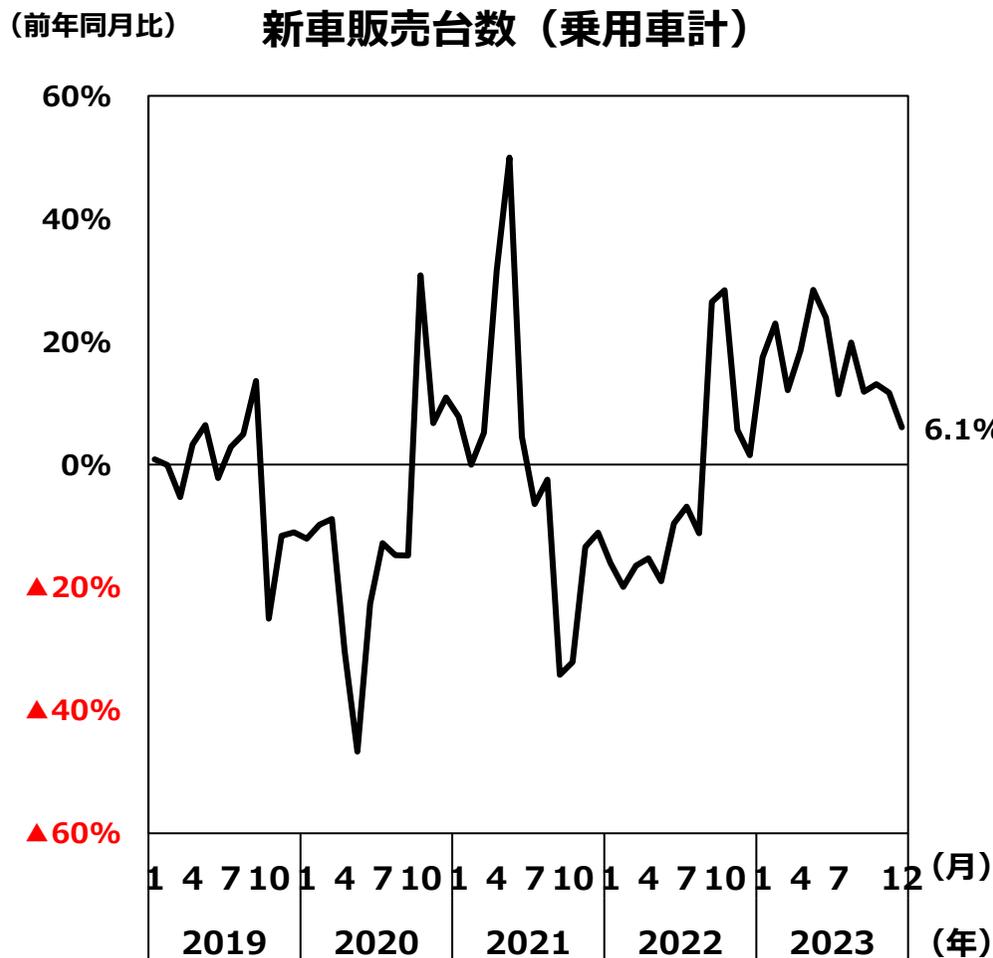


(注) 二人以上の世帯、季節調整値。  
 (資料) 総務省「家計調査」2024年1月9日公表

(注) 二人以上の世帯、季節調整値。  
 (資料) 内閣府「消費動向調査」2024年1月5日公表

# 消費③

- 23年12月の新車販売台数は30.2万台。前年同月比+6.1%のプラス。
- 23年11月の外食売上高は前年同月比+9.8%のプラス。



(資料) 日本自動車販売協会連合会「車種別販売台数」2024年1月5日公表  
 全国軽自動車協会連合会「軽四輪車 新車販売台数」2024年1月5日公表

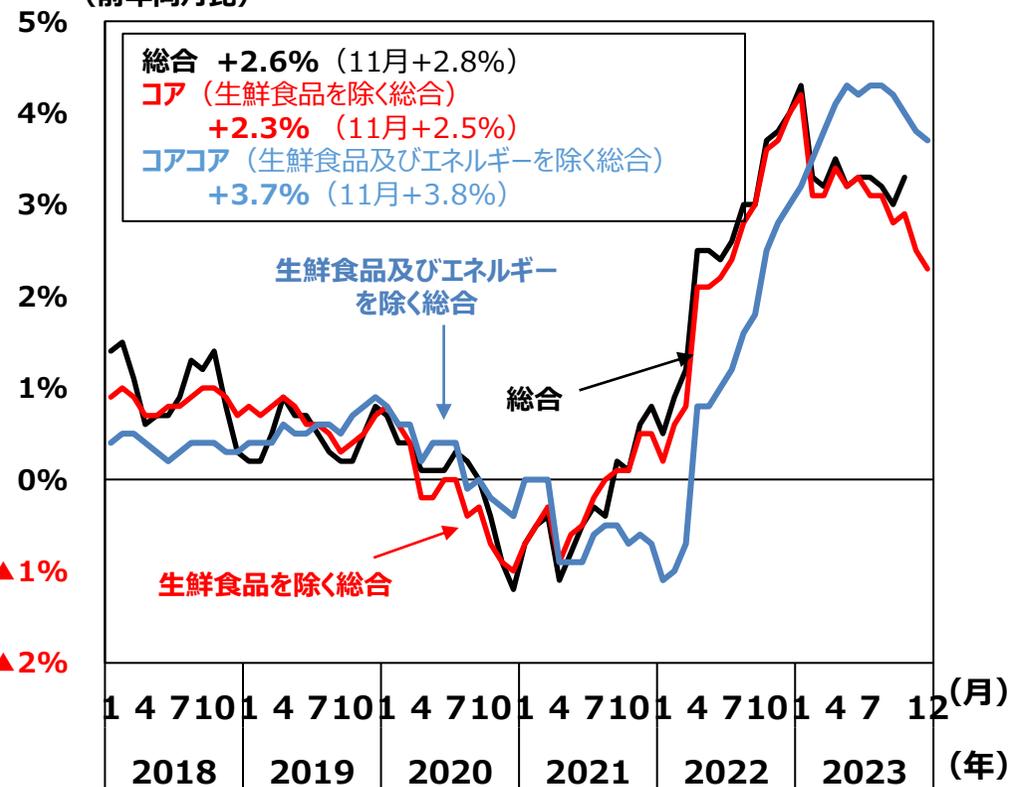
(資料) 日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」2023年12月25日公表

# 物価①

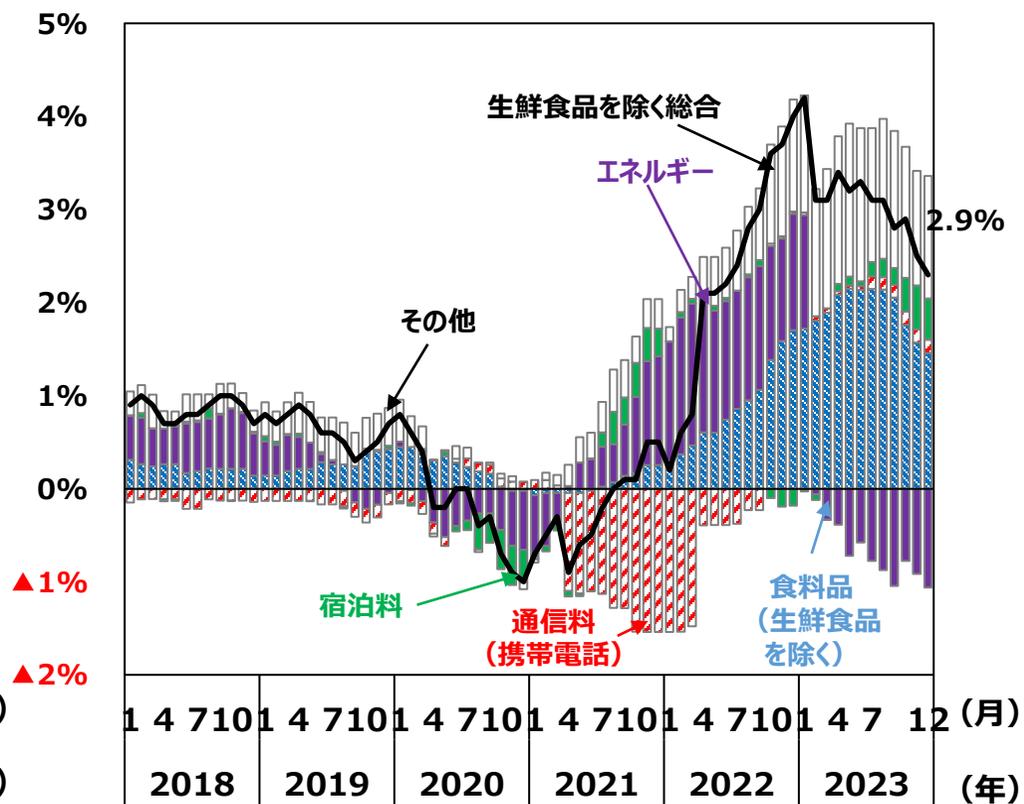
- 23年12月の消費者物価指数（総合）は前年同月比+2.6%、生鮮食品を除く総合（コア）は同+2.3%、生鮮食品及びエネルギーを除く総合（コアコア）は同+3.7%となった。

## 消費者物価指数の推移

(前年同月比)



## (前年同月比) 生鮮食品を除く総合の寄与度分解



(資料) 総務省「消費者物価指数」2024年1月19日公表

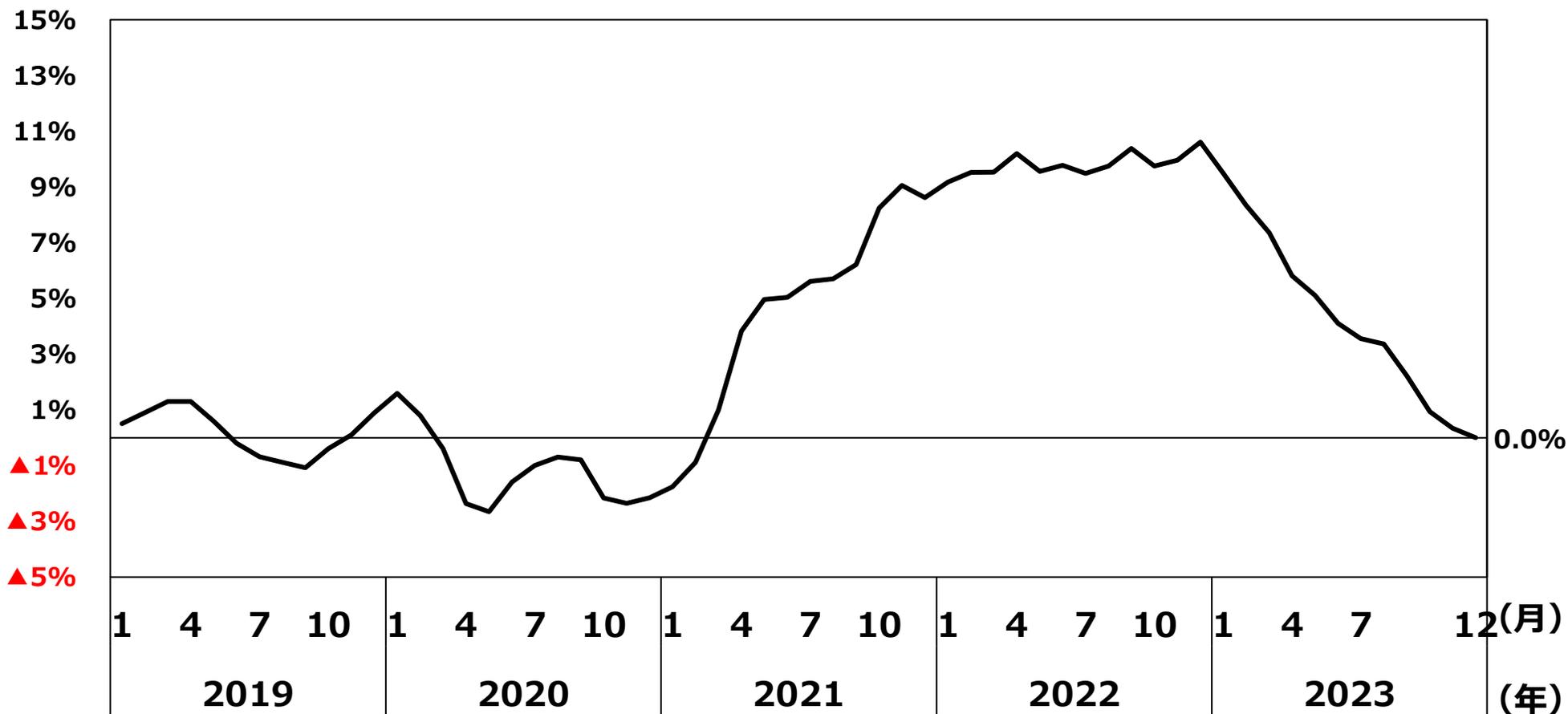
(資料) 総務省「消費者物価指数」2024年1月19日公表

## 物価②

- 23年12月の国内企業物価指数は前年同月比±0.0%（23年11月：同+0.3%）と、資源高などの一服により伸びが鈍化傾向。

### 国内企業物価指数の推移

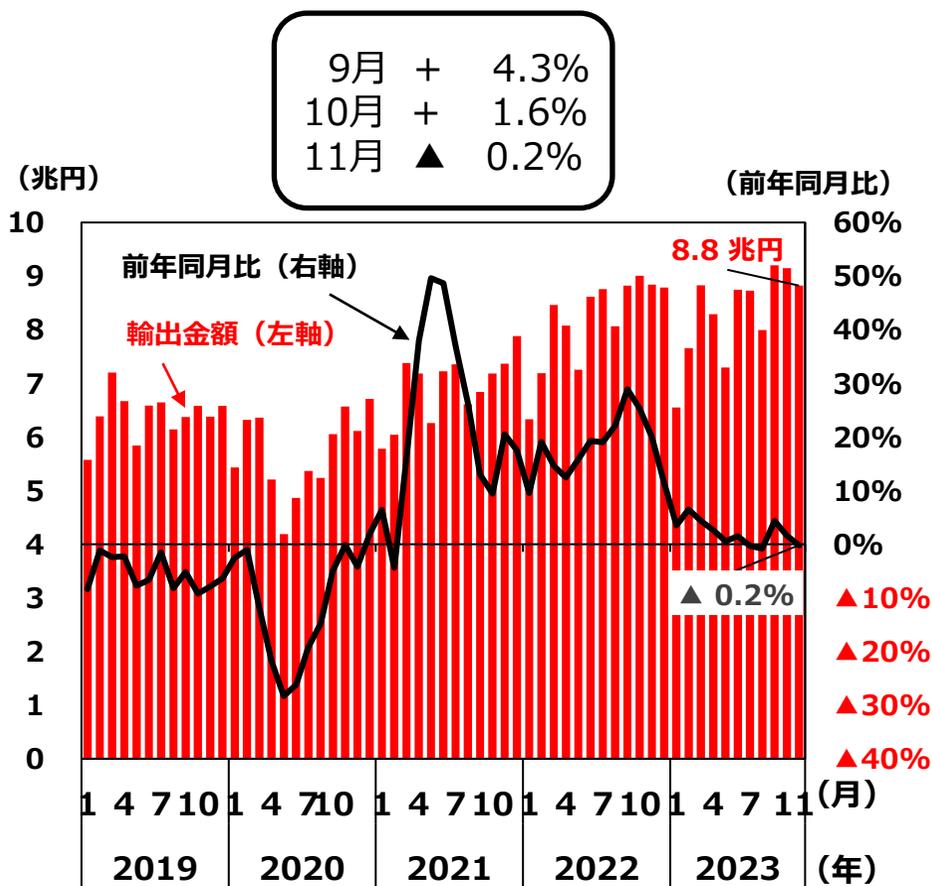
(前年同月比)



# 輸出

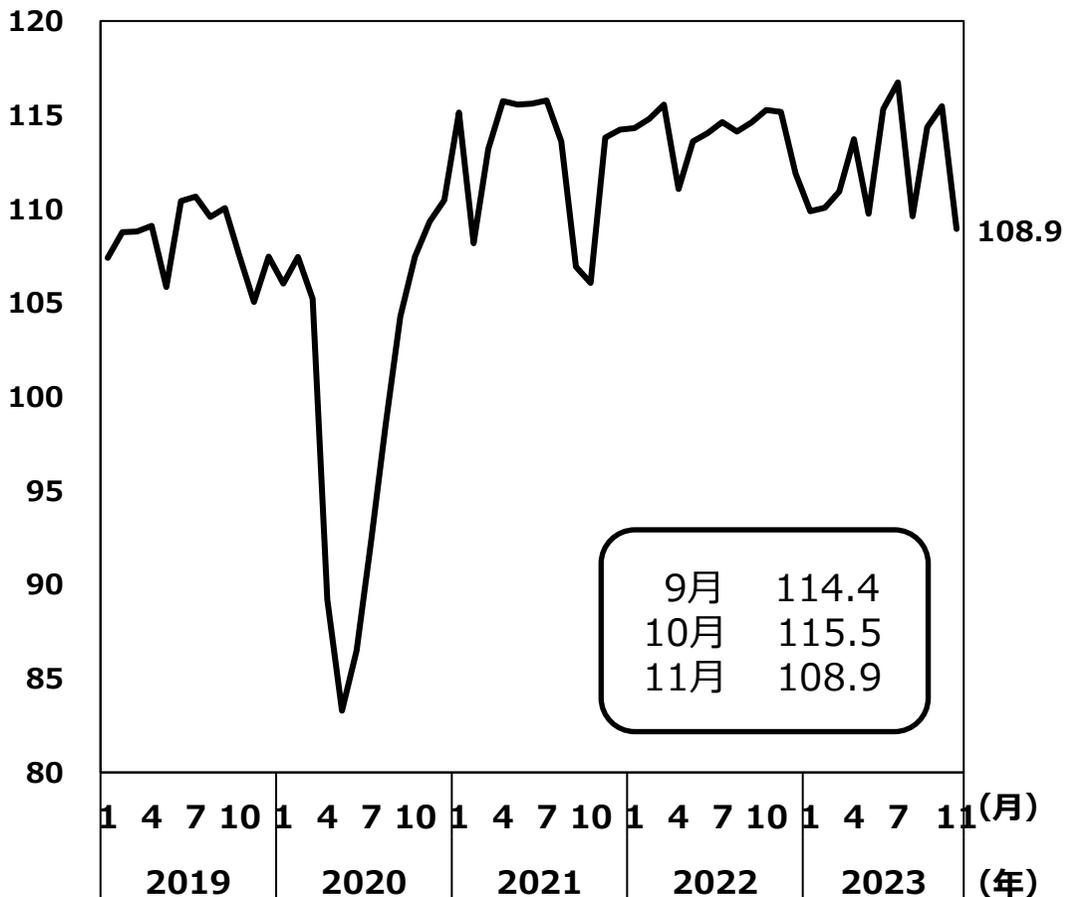
- 23年11月の輸出金額（8.8兆円）は前年同月比▲0.2%と3ヶ月ぶりの減少
- 実質輸出は前月比▲5.7%と3ヶ月ぶりの減少。

## 輸出金額の推移（原数値）



(資料) 財務省「貿易統計」2023年12月27日公表 (確報値)

## (2020年=100) 実質輸出の推移（季節調整値）

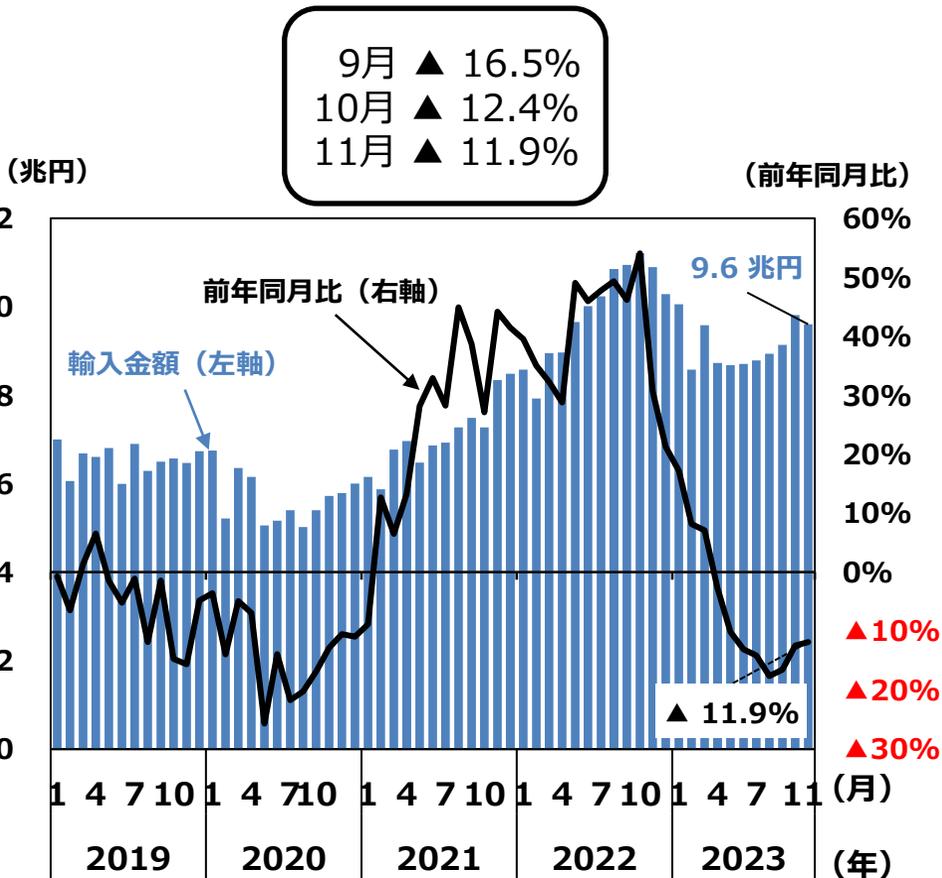


(資料) 日本銀行「実質輸出入の動向」2023年12月20日公表

# 輸入

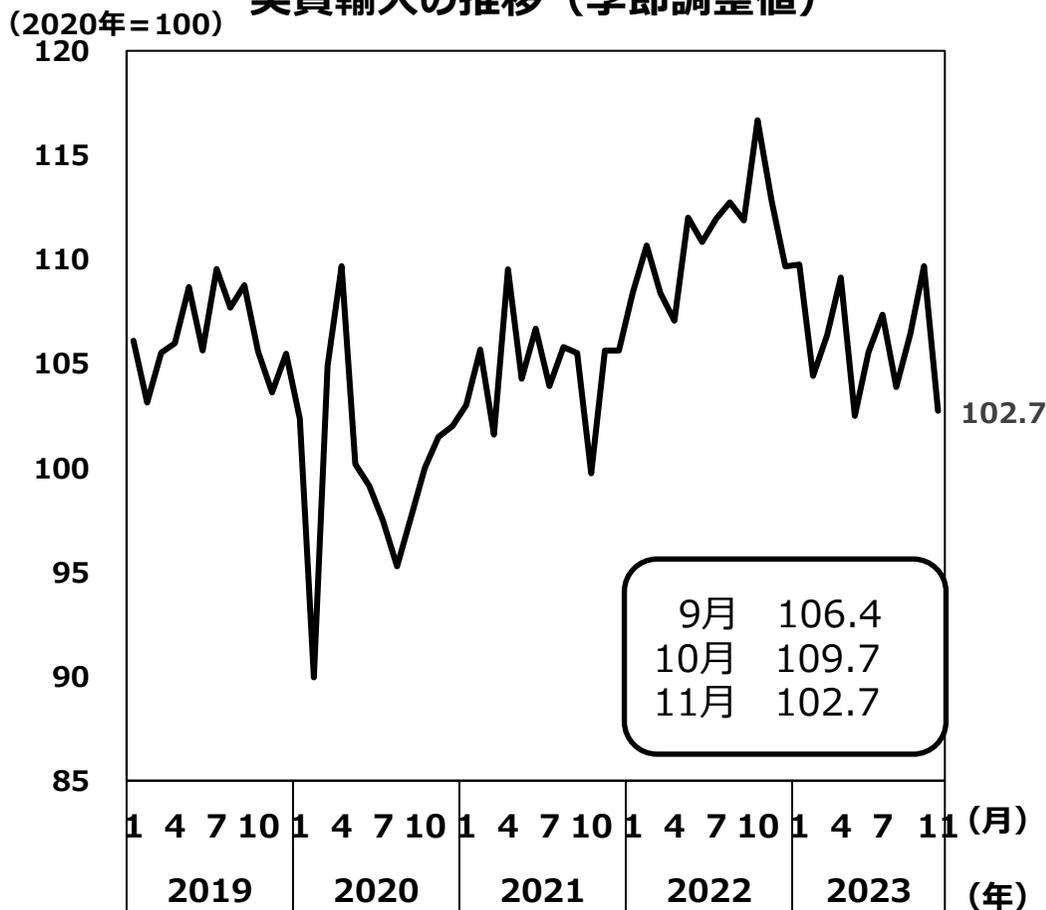
- 23年11月の輸入金額（9.6兆円）は前年同月比▲11.9%と8ヶ月連続の減少。
- 実質輸入は前月比▲6.3%と3ヶ月ぶりの減少。

## 輸入金額の推移（原数値）



（資料）財務省「貿易統計」2023年12月27日公表（確報値）

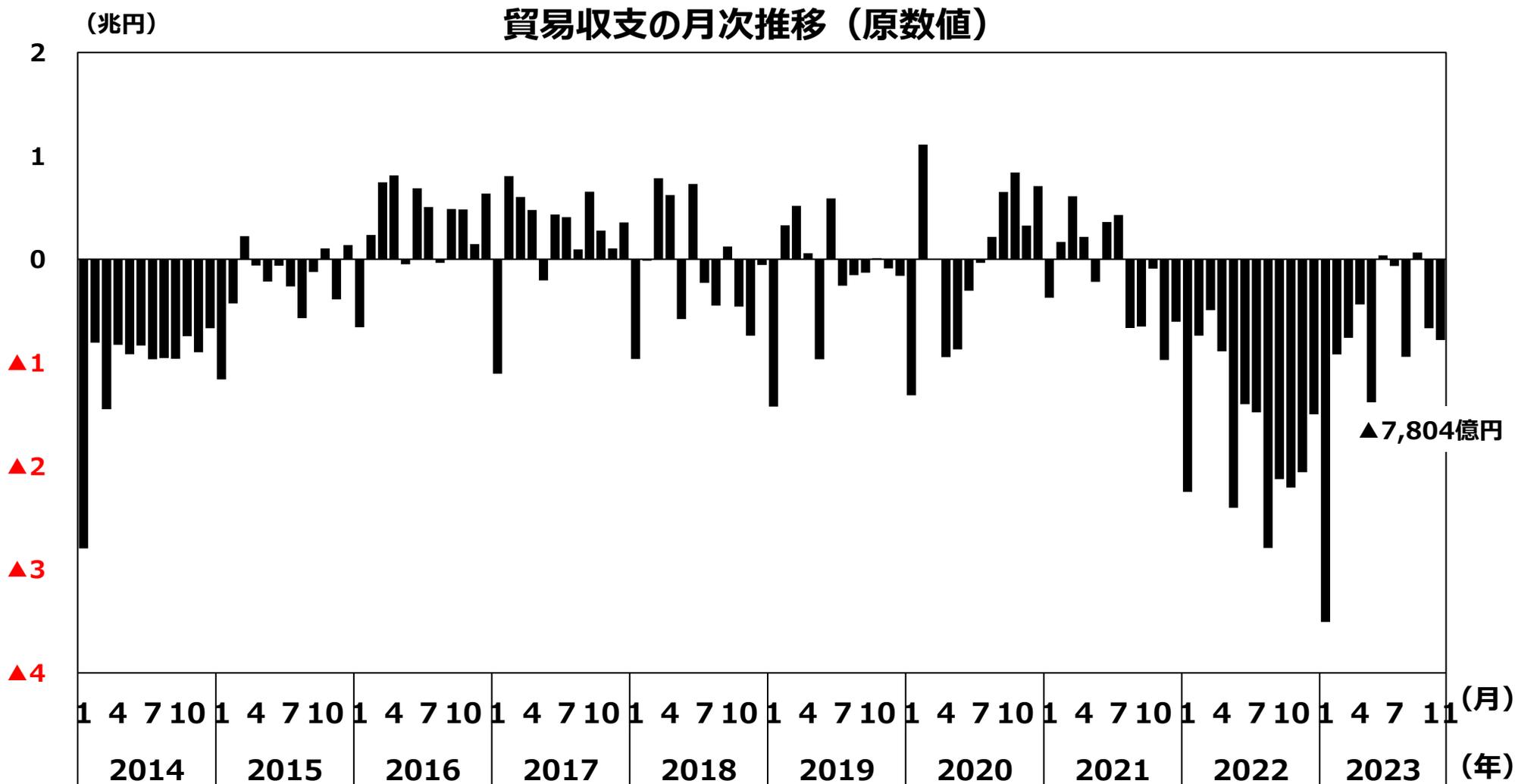
## 実質輸入の推移（季節調整値）



（資料）日本銀行「実質輸出入の動向」2023年12月20日公表

# 貿易収支

- 23年11月の貿易収支は、▲7,804億円と2ヶ月連続の赤字。

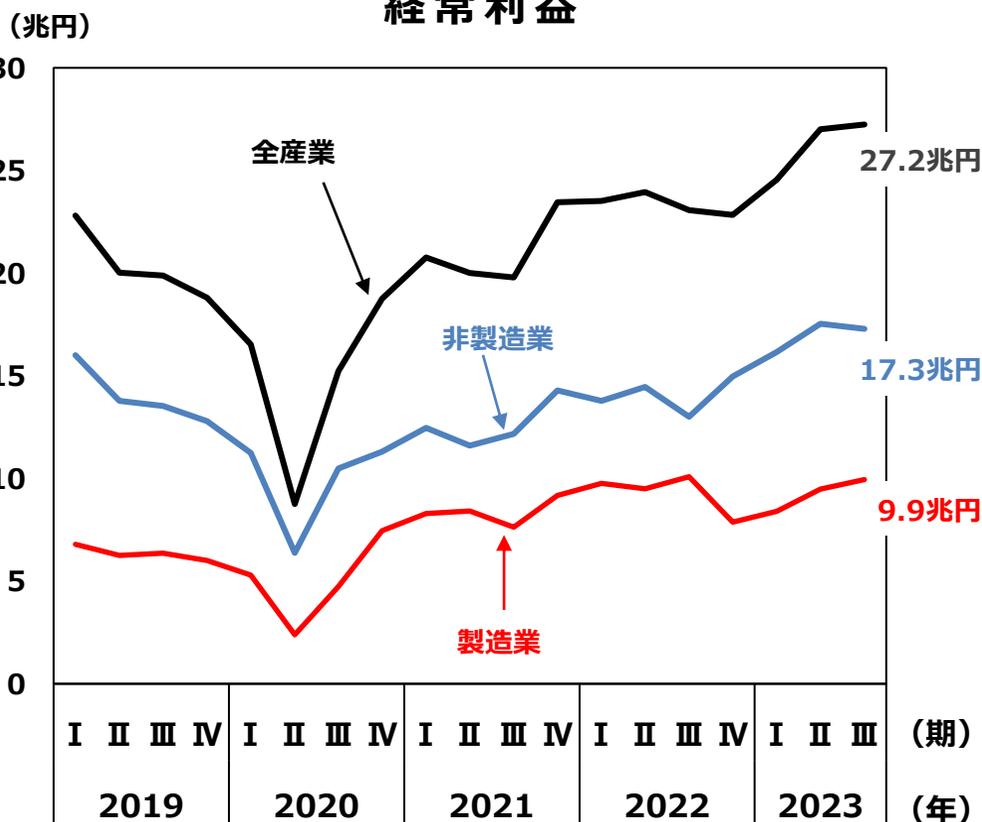


(資料) 財務省「貿易統計」2023年12月27日公表 (確報値)

# 企業収益 業況判断

- 23年7-9月期の経常利益は、全規模全産業で27.2兆円(前期比+0.8%)と3四半期連続の増益。製造業は同+4.9%と3四半期連続の増益となり、非製造業は同▲1.3%と4四半期ぶりの減益となった。
- 12月調査時点の業況は、大企業製造業・非製造業、中小企業製造業・非製造業のいずれの規模・業種でも改善した。先行きは、いずれの規模・業種においても悪化が見込まれる。

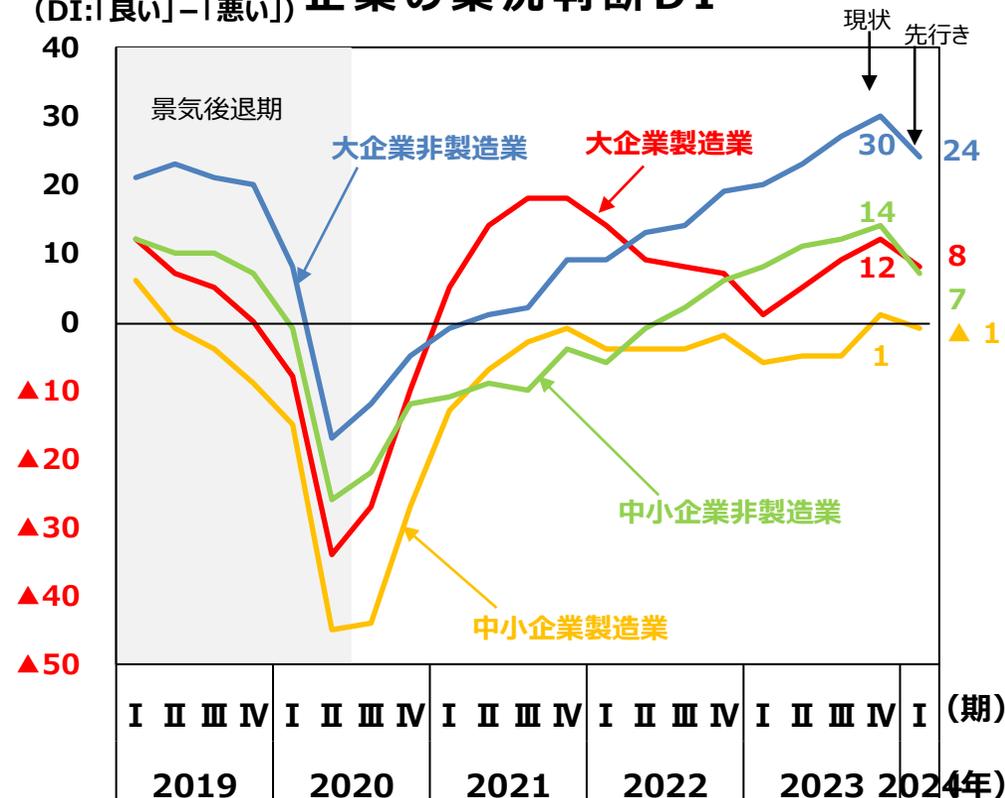
## 経常利益



(注) 季節調整値、金融業・保険業を除く。

(資料) 財務省「法人企業統計季報」2023年12月1日公表

## 企業の業況判断DI (DI:「良い」-「悪い」)

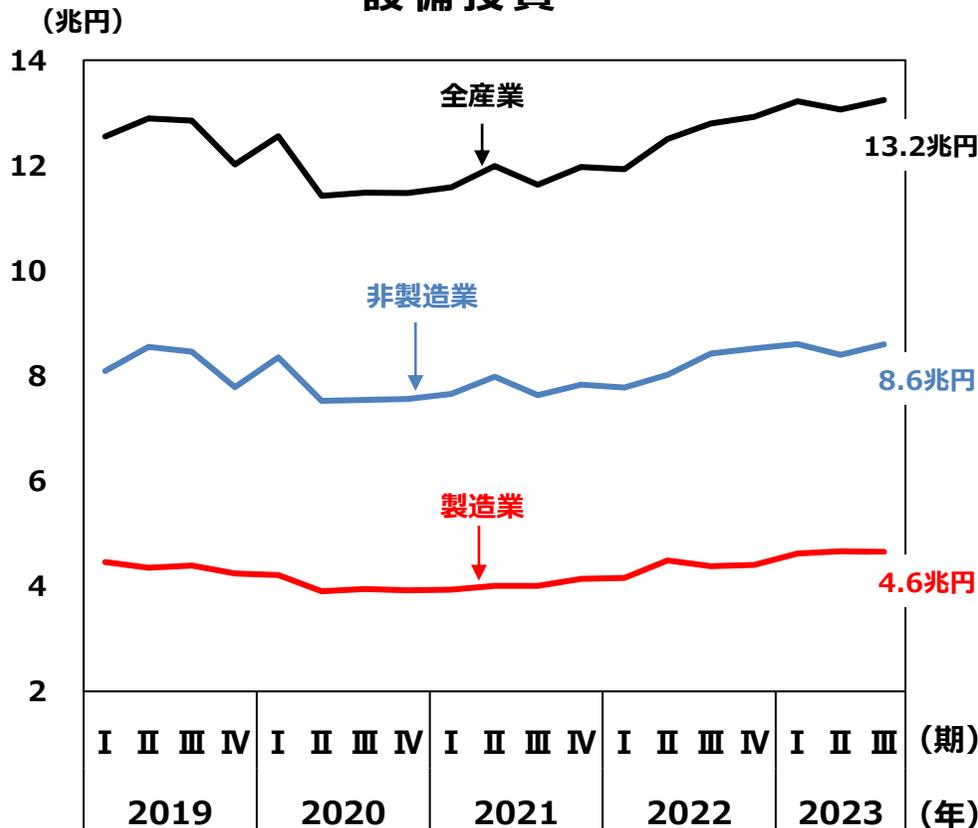


(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2023年12月13日公表

# 設備投資

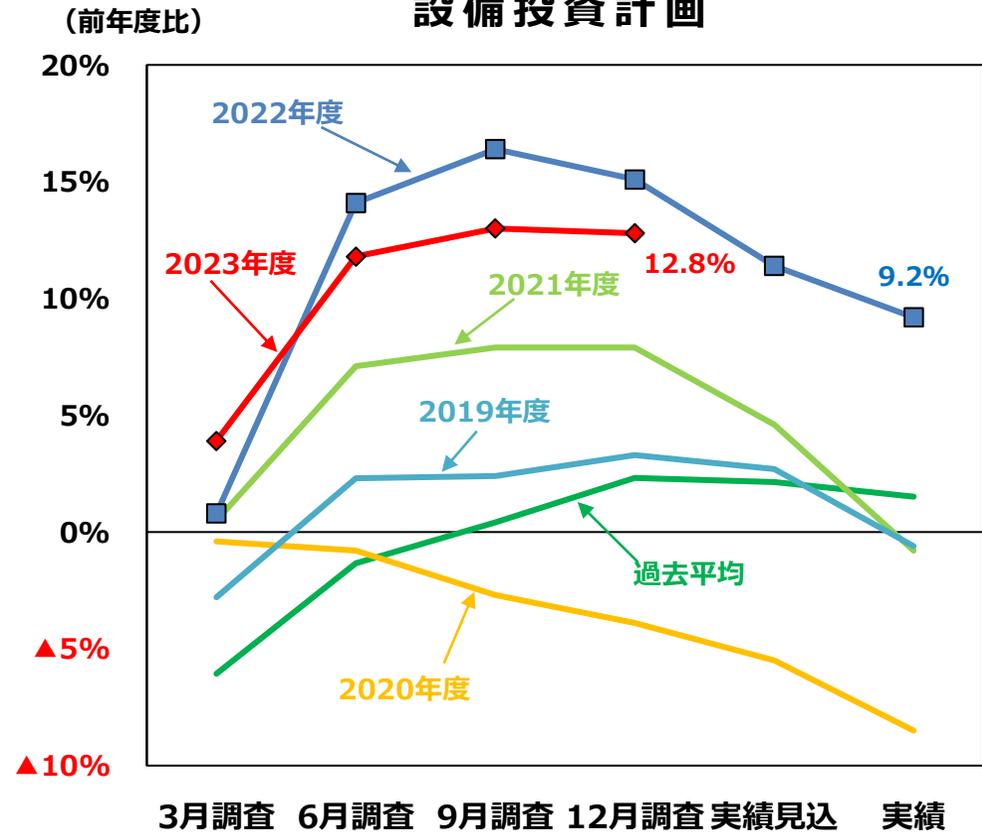
- 23年7-9月期の設備投資は、全規模全産業で13.2兆円（前期比+1.4%）と、2四半期ぶりの増加。製造業は同▲0.4%と4四半期ぶりの減少となり、非製造業は同+2.4%と2四半期ぶりの増加となった。
- 12月調査時点の2023年度設備投資計画は全規模全産業で前年度比+12.8%と、前回調査（同+13.0%）から下方修正。

## 設備投資



(注) 季節調整値、金融業・保険業を除く、ソフトウェアを含む。  
 (資料) 財務省「法人企業統計季報」2023年12月1日公表

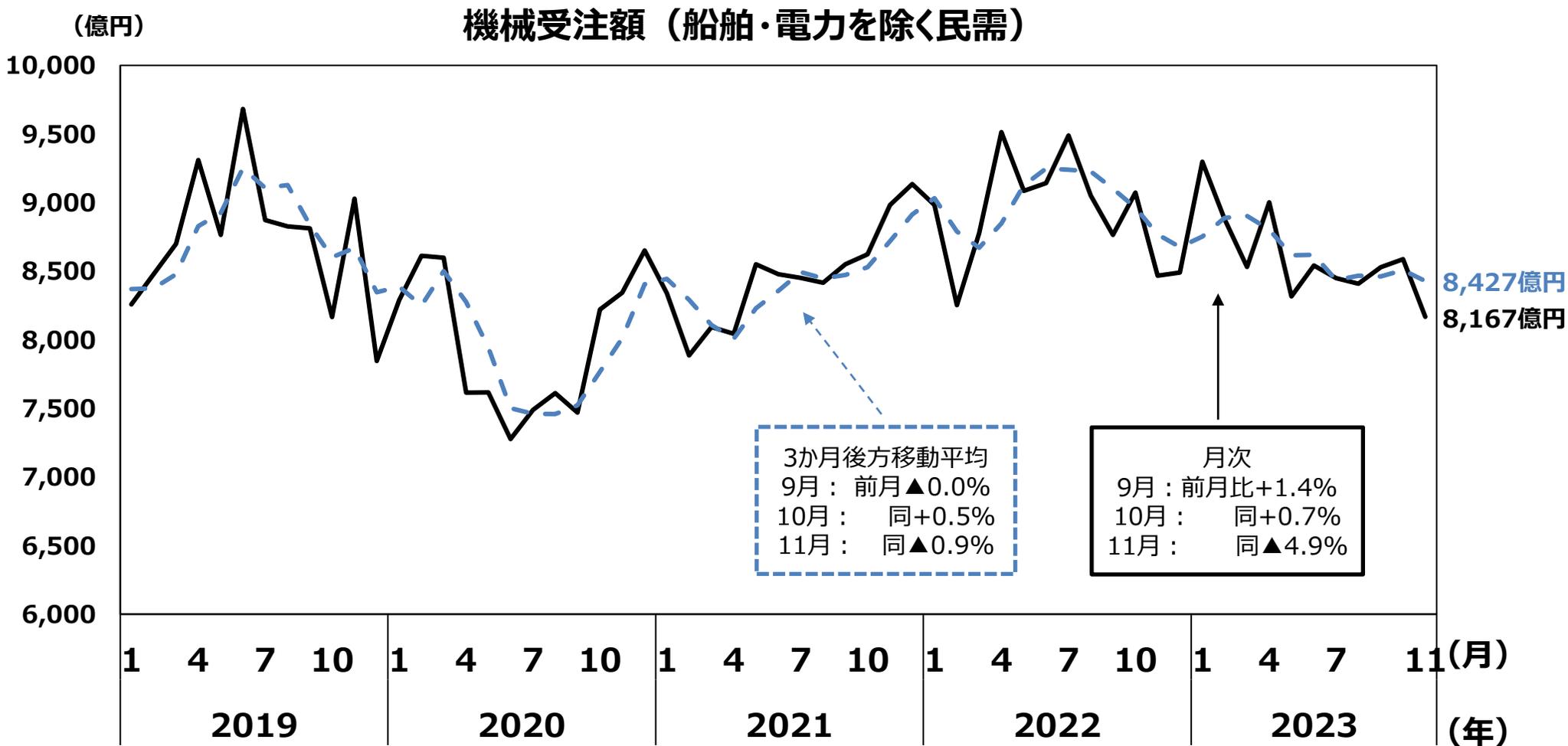
## 設備投資計画



(注) 「過去平均」は、1982年度～2018年度の平均値。  
 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額・研究開発投資額を含まない。  
 (資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2023年12月13日公表

# 機械受注

- 11月の機械受注額(船舶・電力を除く民需)は、8,167億円（前月比▲4.9%）と、3か月ぶりの減少。
- 基調判断は、「足踏みがみられる」と前月から据え置き。

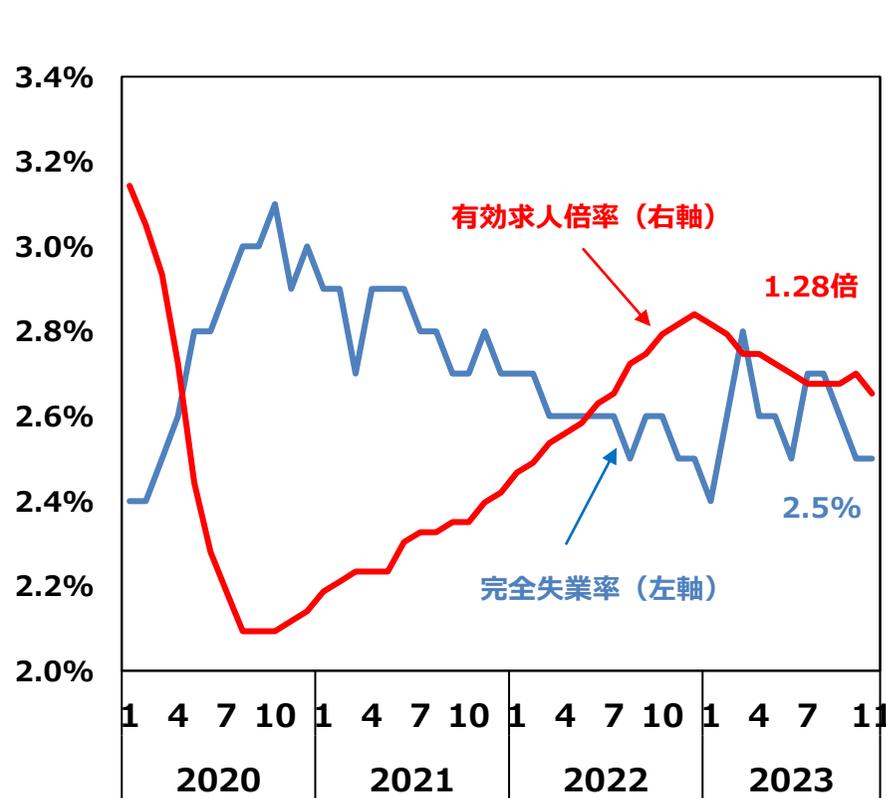


(資料) 内閣府「機械受注統計」2024年1月18日公表

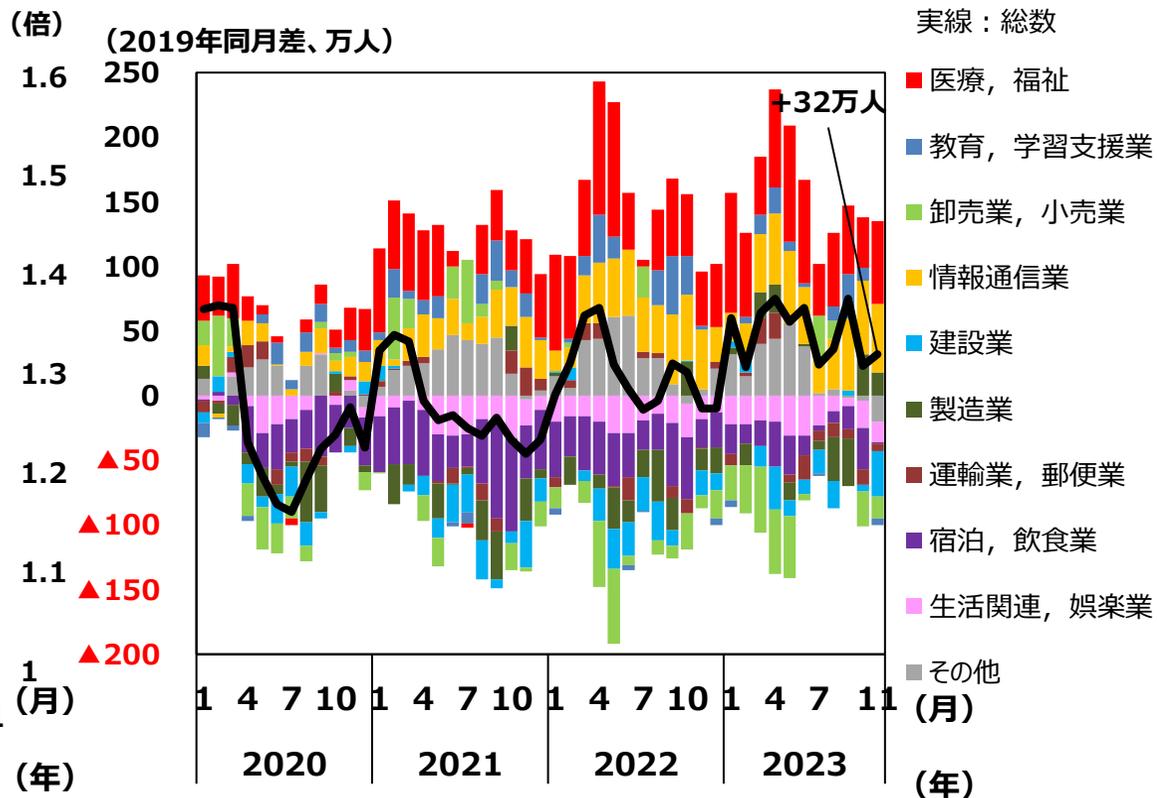
# 雇用

- 23年11月の完全失業率は2.5%と前月から横ばい。有効求人倍率は1.28倍と前月から下落。
- 23年11月の雇用者数は、19年同月差で+32万人。産業別では、情報通信業、製造業、医療、福祉等がコロナ前との比較で増加。

## 失業率・有効求人倍率



## 雇用者数の増減 (産業別)



(注) 季節調整値

(資料) 総務省「労働力調査」2023年12月26日公表

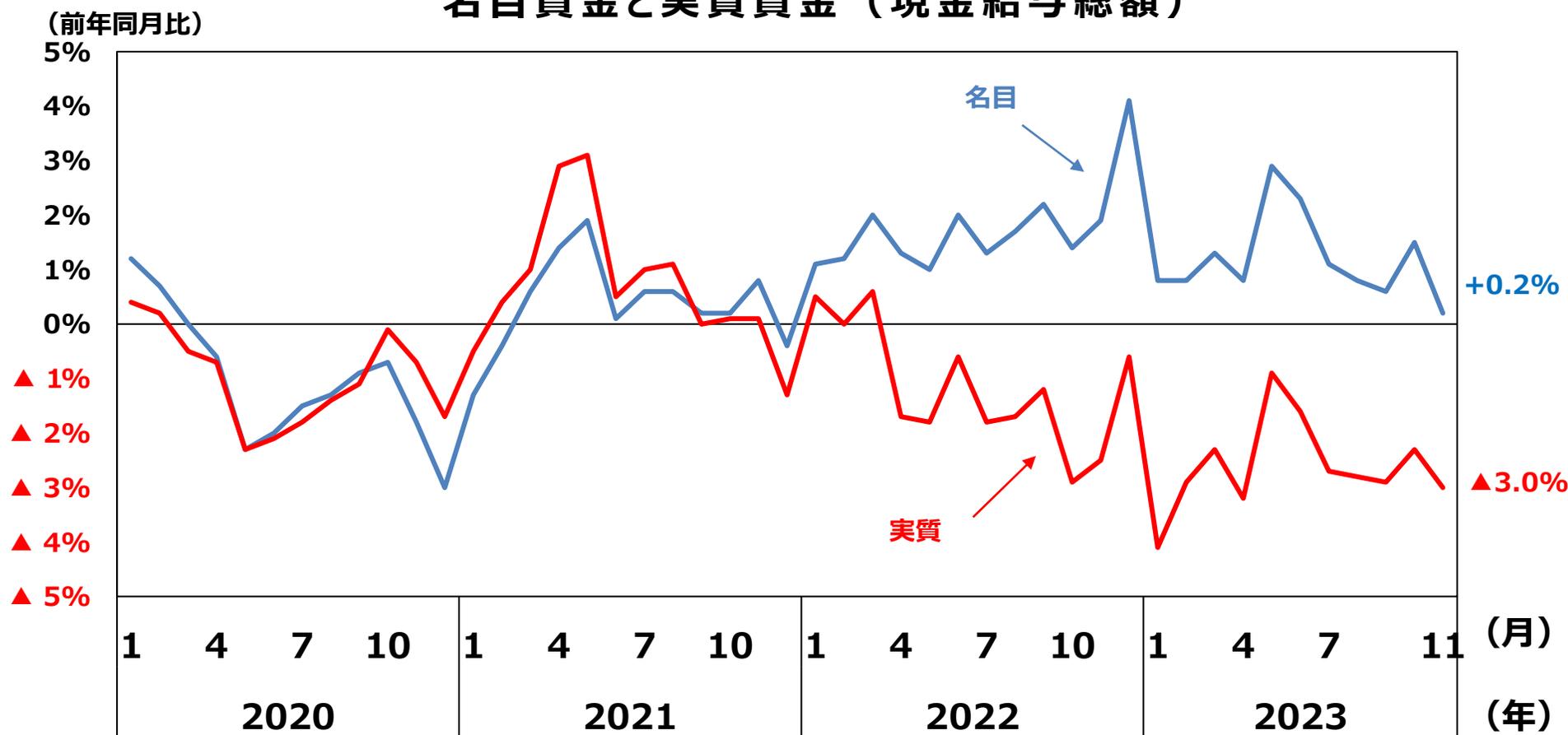
厚生労働省「一般職業紹介状況」2023年12月26日公表

(資料) 総務省「労働力調査」2023年12月26日公表

# 賃金

- 23年11月の名目賃金は前年同月比+0.2%、実質賃金は同▲3.0%。
- 名目賃金は23ヶ月連続のプラス。「所定内給与」が同+1.2%(10月:同+1.3%)と前月から上昇幅が縮小したことに加え、ボーナスを含む「特別給与」が同▲13.2%（10月：同+13.7%）と減少に転じたことにより、全体としては前月から上昇幅が大幅に縮小。実質賃金は、減少幅が拡大。名目賃金の伸びが物価上昇に追いついていない状況が続いており、20ヶ月連続のマイナスとなった。

## 名目賃金と実質賃金（現金給与総額）



日本經濟

**美国經濟**

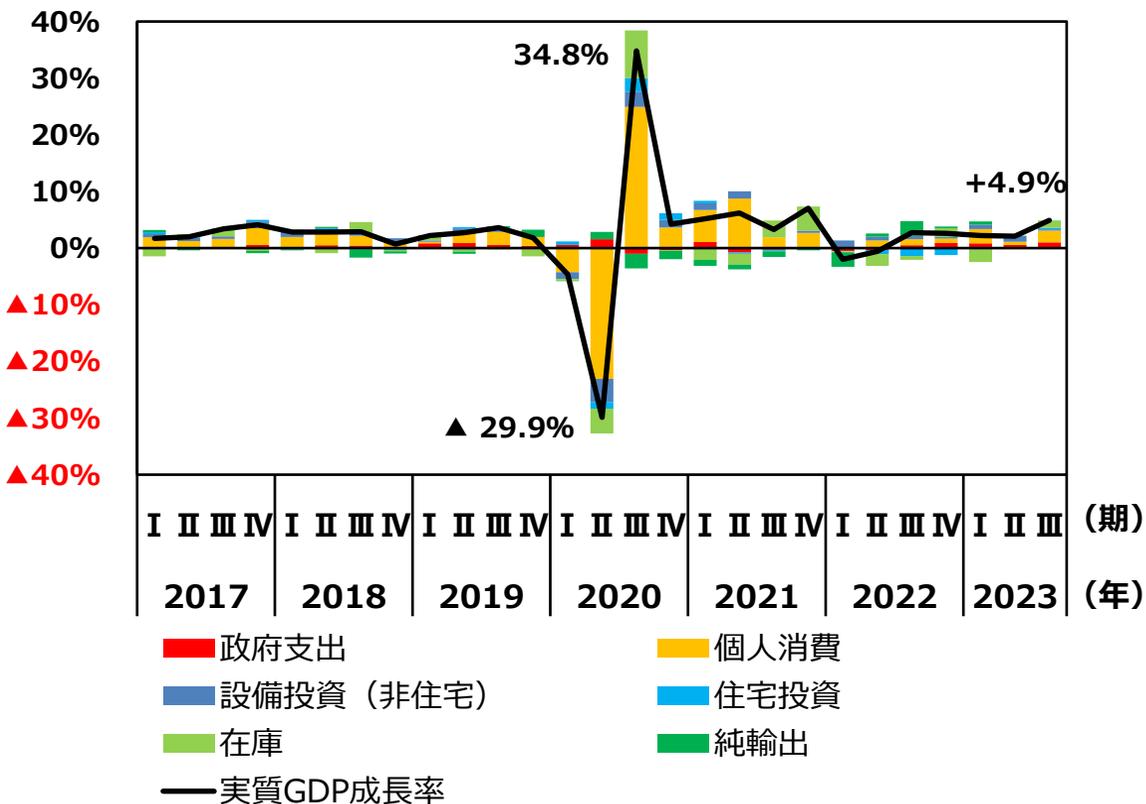
中国經濟

欧州經濟

# 米国 GDP

- 23年7-9月期実質GDP成長率（最終推計）は、前期比年率+4.9%（二次推計時：+5.2%）に下方修正。5四半期連続のプラス成長。二次推計時同様、個人消費がプラスに寄与している。

(前期比年率) 米国実質GDP寄与度 (需要項目別)



(注) 季節調整値

(資料) 米商務省「GDP統計」2023年12月21日公表 (確報値)

需要項目別・成長率

(前期比年率)

	4-6月期	7-9月期 確報	増減
実質GDP	2.1	4.9	2.8
個人消費	0.8	3.1	2.3
設備投資	7.4	1.4	▲ 6.0
住宅投資	▲ 2.2	6.7	8.9
輸出	▲ 9.3	5.4	14.7
輸入	▲ 7.6	4.2	11.8
政府支出	3.3	5.8	2.5

(資料) 米商務省「GDP統計」2023年12月21日公表 (確報値)

需要項目別・寄与度

(前期比年率)

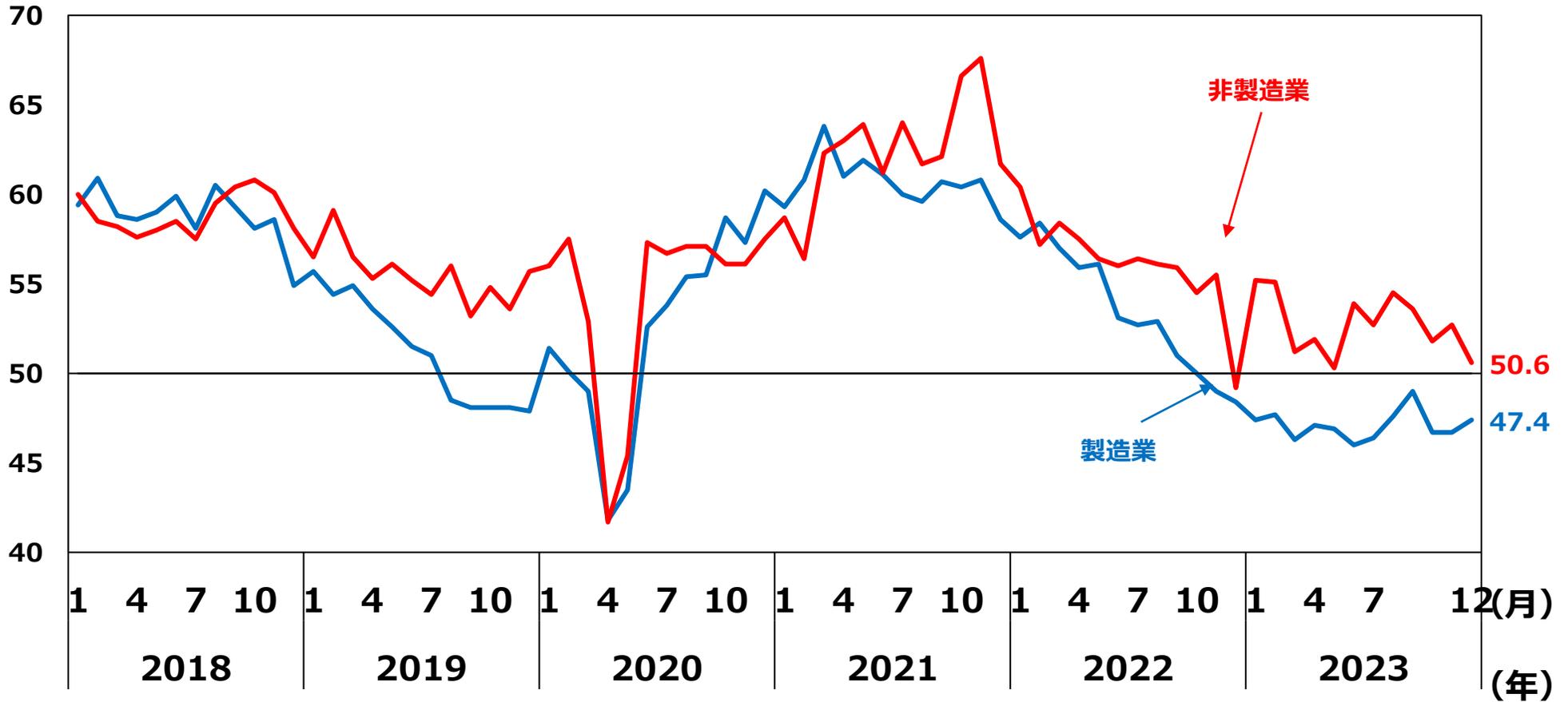
	4-6月期	7-9月期 確報	増減
実質GDP	2.1	4.9	2.8
個人消費	0.55	2.11	1.56
設備投資	0.98	0.21	▲ 0.77
住宅投資	▲ 0.09	0.26	0.35
在庫投資	0.00	1.27	1.27
輸出	▲ 1.09	0.59	1.68
輸入	1.13	▲ 0.56	▲ 1.69
政府支出	0.57	0.99	0.42

(資料) 米商務省「GDP統計」2023年12月21日公表 (確報値)

# 米国 ISM製造業・非製造業景気指数

- 23年12月ISM製造業景気指数（総合）は47.4と、前月（46.7）から上昇した。
- 23年12月ISM非製造業景気指数（総合）は50.6と、前月（52.7）から下落した。

## ISM製造業・非製造業景気指数

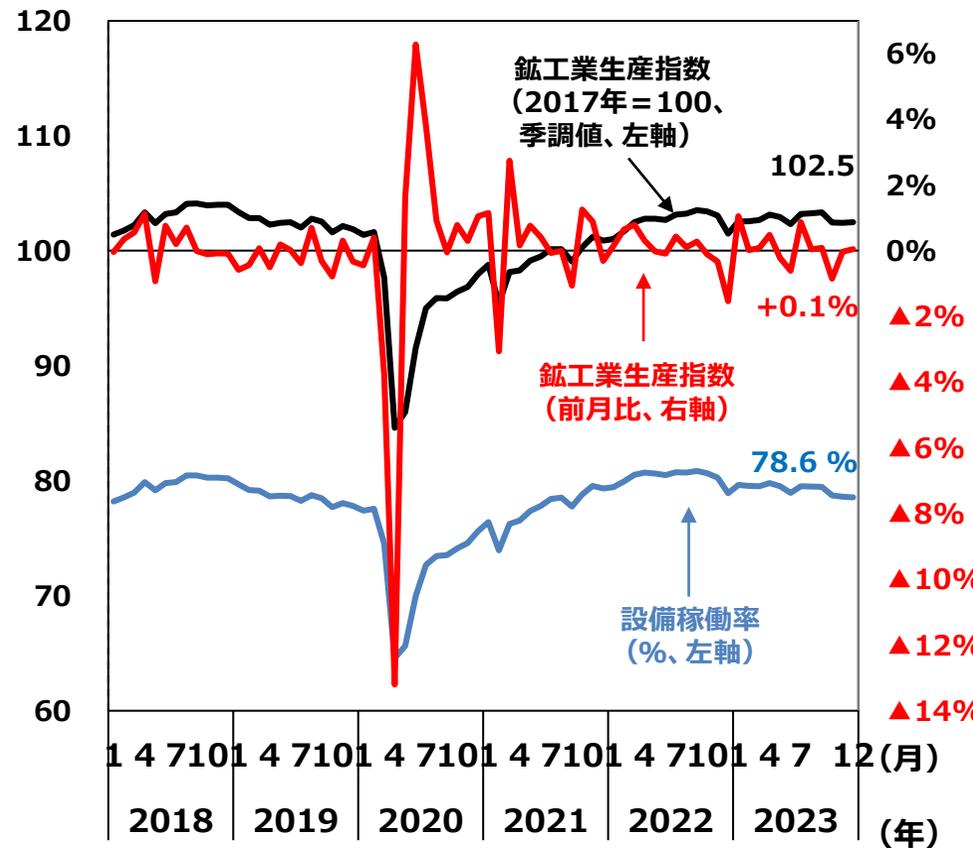


(資料) 米国供給管理協会 (ISM) 製造業：2024年1月3日公表 非製造業：2024年1月5日公表

# 米国 生産

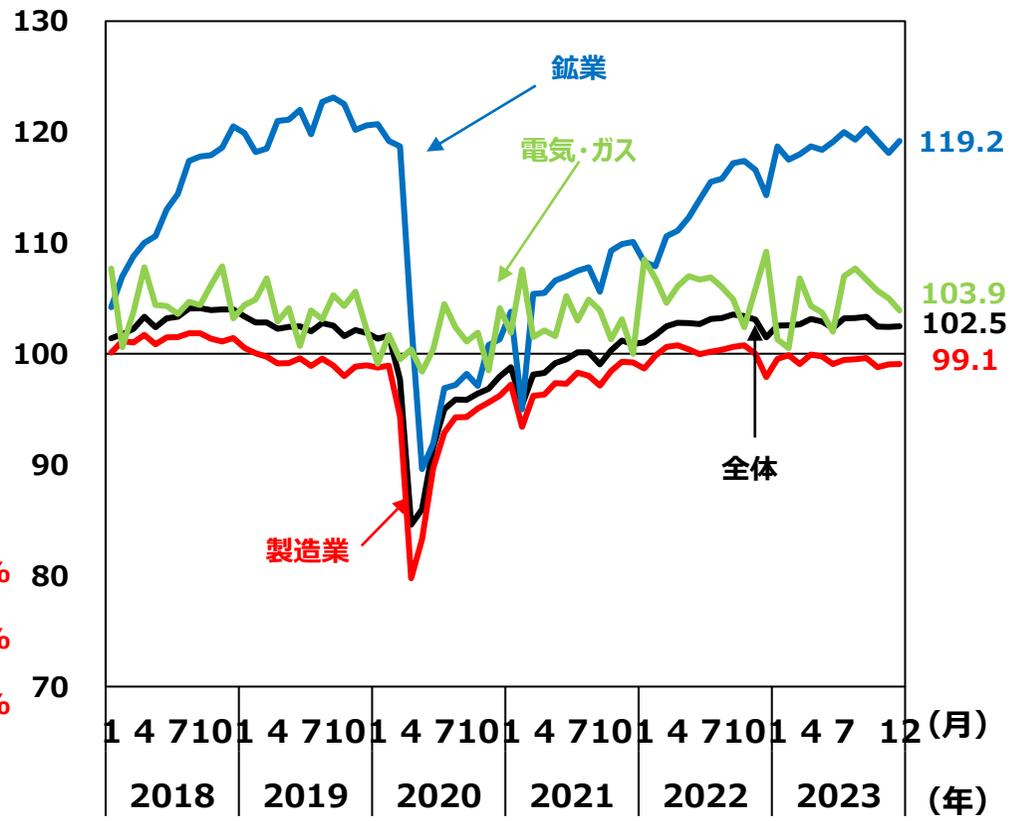
- 12月の鉱工業生産指数は前月比+0.1%（前月：同+0.0%）と上昇。
- 内訳をみると、鉱業は同+0.9%、製造業は前月比+0.1%と増加、電気・ガス生産は同▲1.0%と減少した。

### 鉱工業生産指数と設備稼働率



(資料) 米連邦準備制度理事会「鉱工業生産」2024年1月18日公表

### (2017年=100) 鉱工業生産指数の内訳

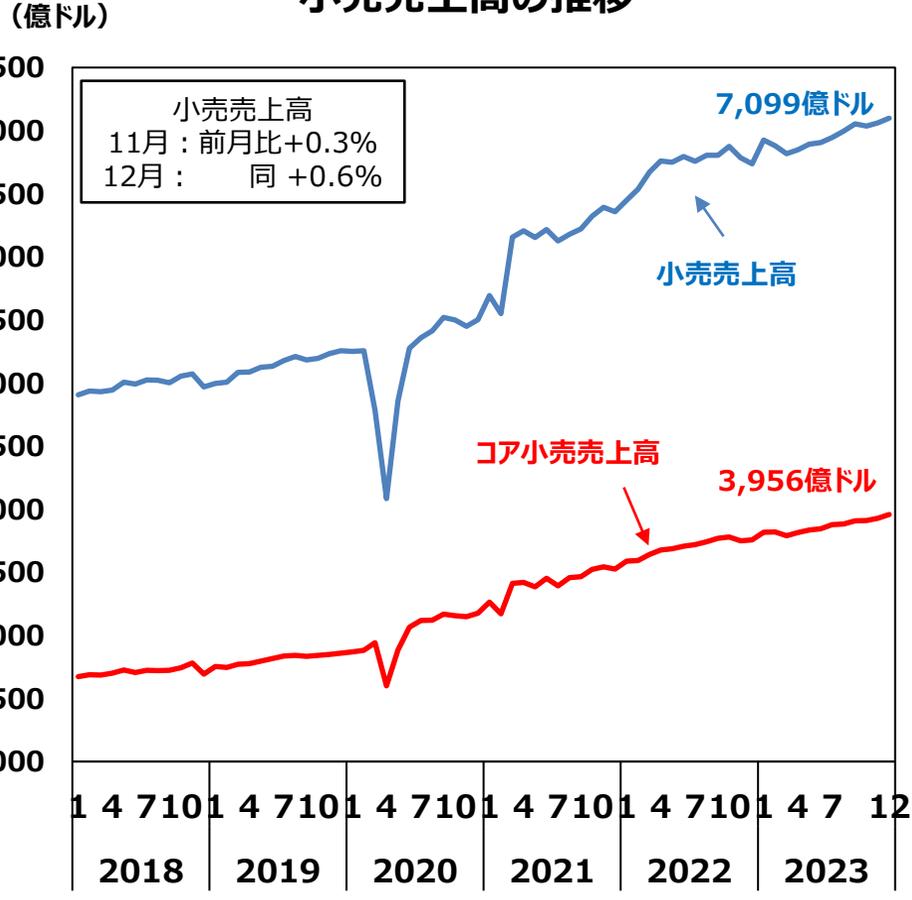


(資料) 米連邦準備制度理事会「鉱工業生産」2024年1月18日公表

# 米国 消費

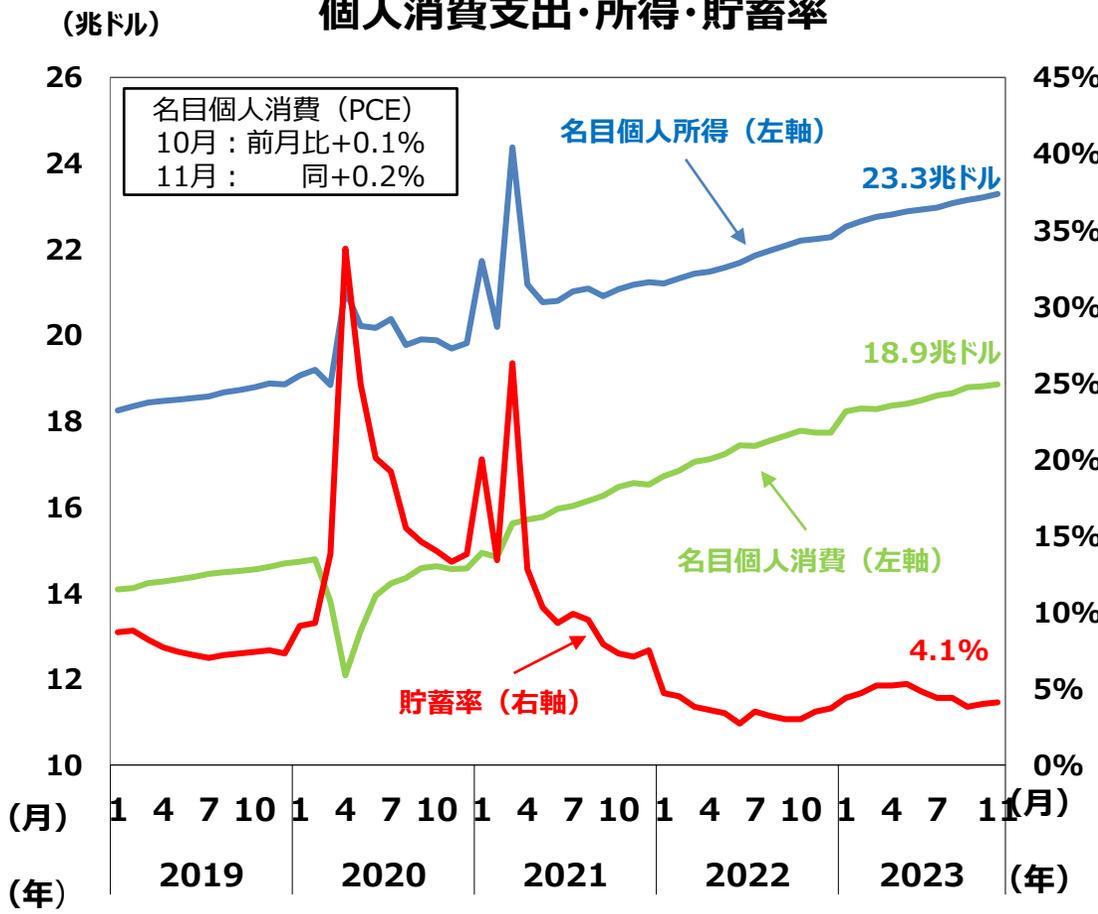
- 23年12月の小売売上高は、前月比+0.6%（前月：同+0.3%）となった。
- 23年11月の名目個人消費支出（PCE）は、前月比+0.2%（前月：同+0.1%）となった。

## 小売売上高の推移



(注) 季節調整値。コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリンスタンド、建材、飲食店を除く。  
(資料) 米商務省「小売売上高」2024年1月17日公表

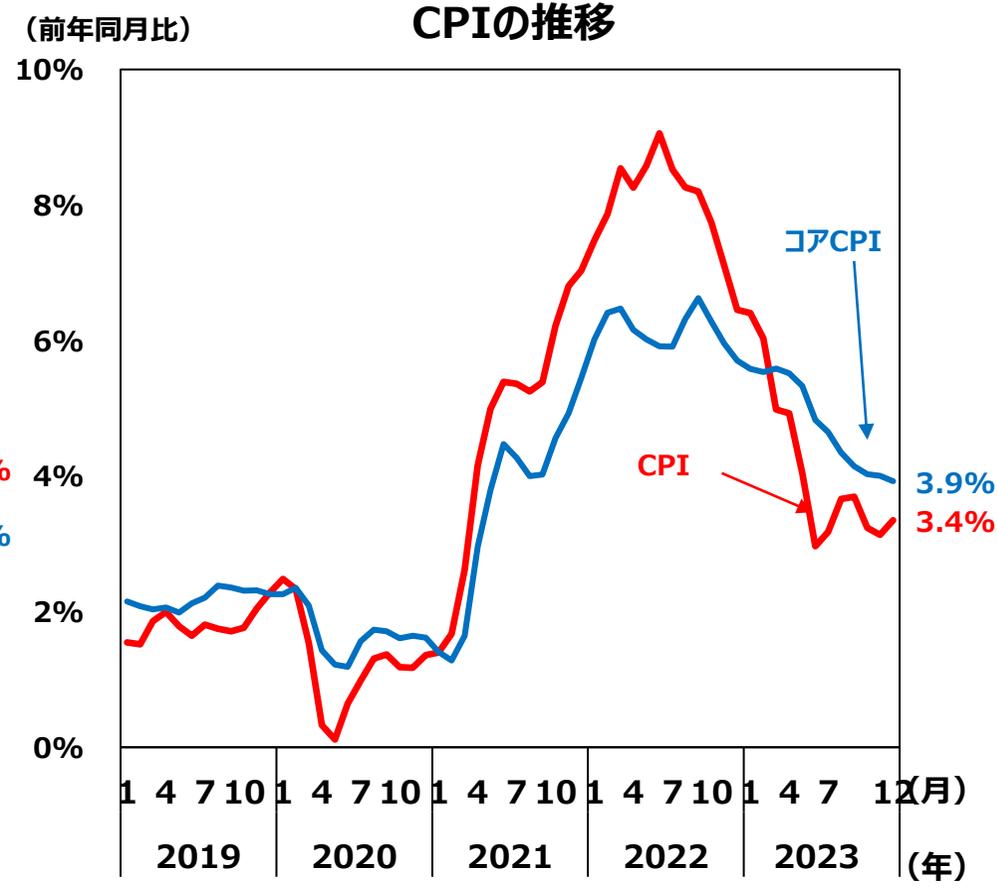
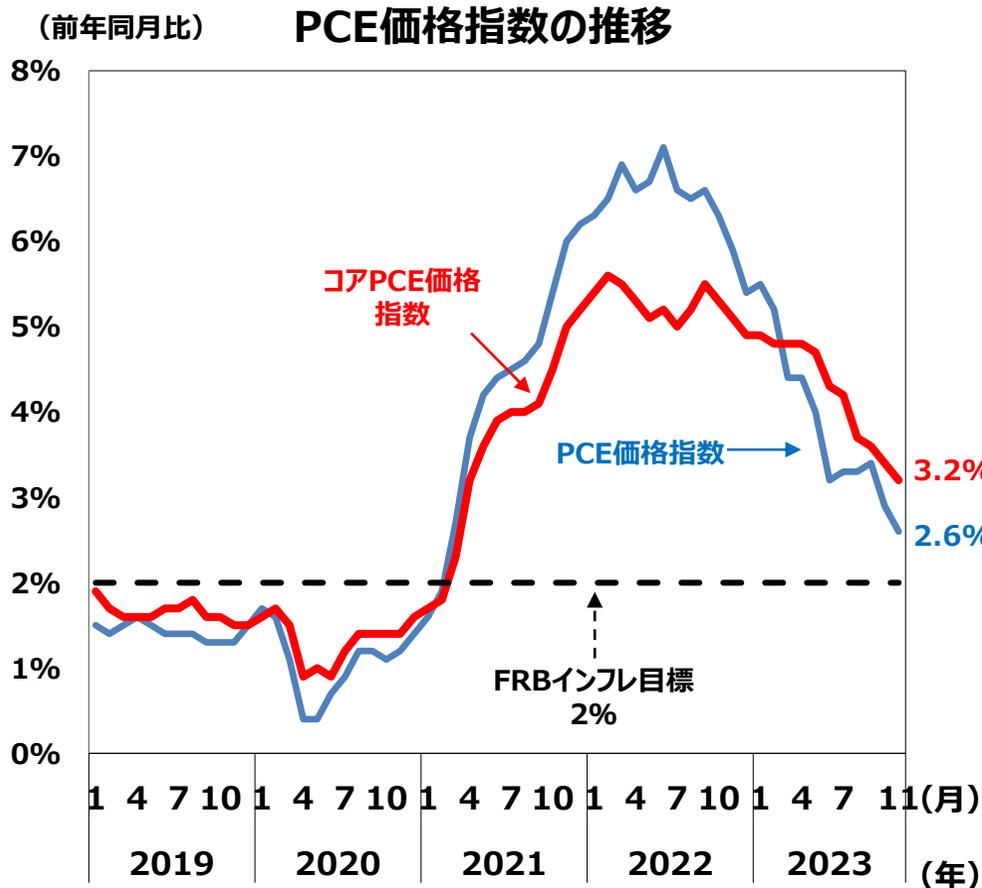
## 個人消費支出・所得・貯蓄率



(注) 季節調整値  
(資料) 米商務省「個人消費・所得」2023年12月22日公表

# 米国 物価①

- 23年11月のPCE価格指数は、前年同月比+2.6%（前月:同+2.9%）。
- 23年12月の消費者物価指数（CPI）は、前年同月比+3.4%（前月:同+3.1%）。



(注) コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリン、建材、飲食を除く。

(資料) 米商務省「PCE価格指数」2023年12月22日公表

(注) コアは食料、エネルギーを除く。

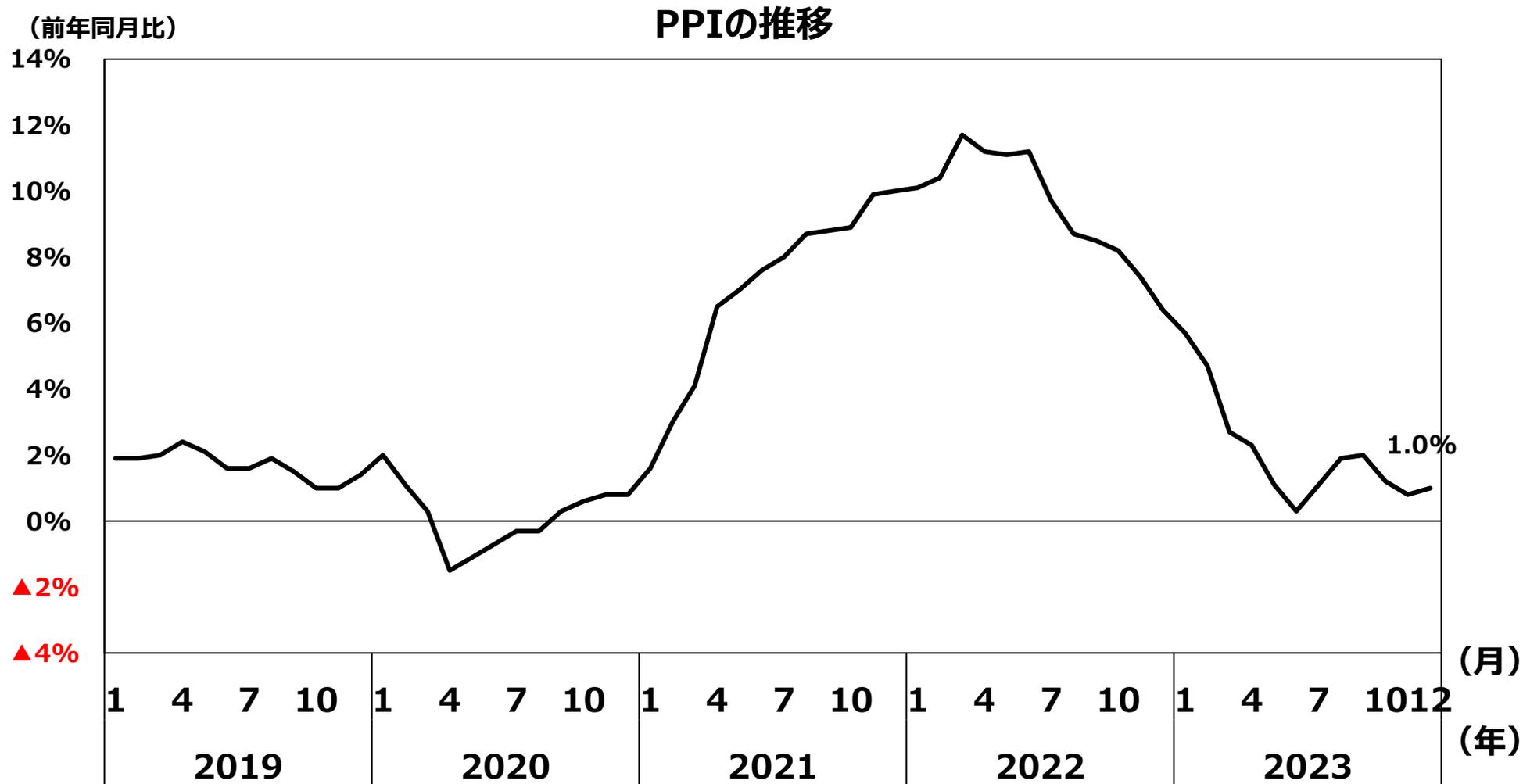
(資料) 米労働省「消費者物価指数（CPI）」2024年1月11日公表

ご参考：CPIと個人消費支出（PCE）価格指数との主な違いは以下のとおり。なお、FRBはPCE価格指数をインフレ指標としている。

①計算方法：CPIはラスパレス指数を使用しており、上方バイアスが生じる。これに対し、PCEはフィッシャー指数（ラスパレス指数とパーシェ指数の幾何平均）を用いており、バイアスが生じにくい。②対象：CPIは消費者が直接的に支払う消費支出。PCEは保険制度による医療費の負担など間接的な支払いを含む。

# 米国 物価②

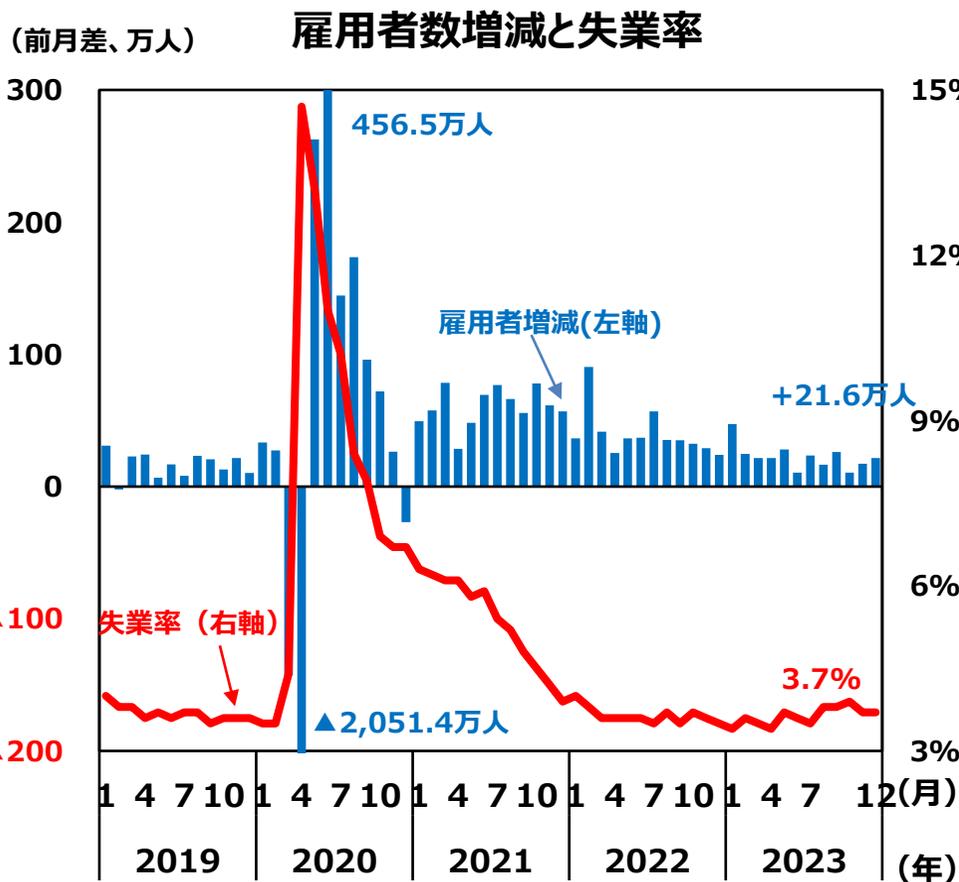
- 23年12月のPPI（卸売物価指数）は前年同月比+1.0%と、前月（同+0.8%）から加速した。



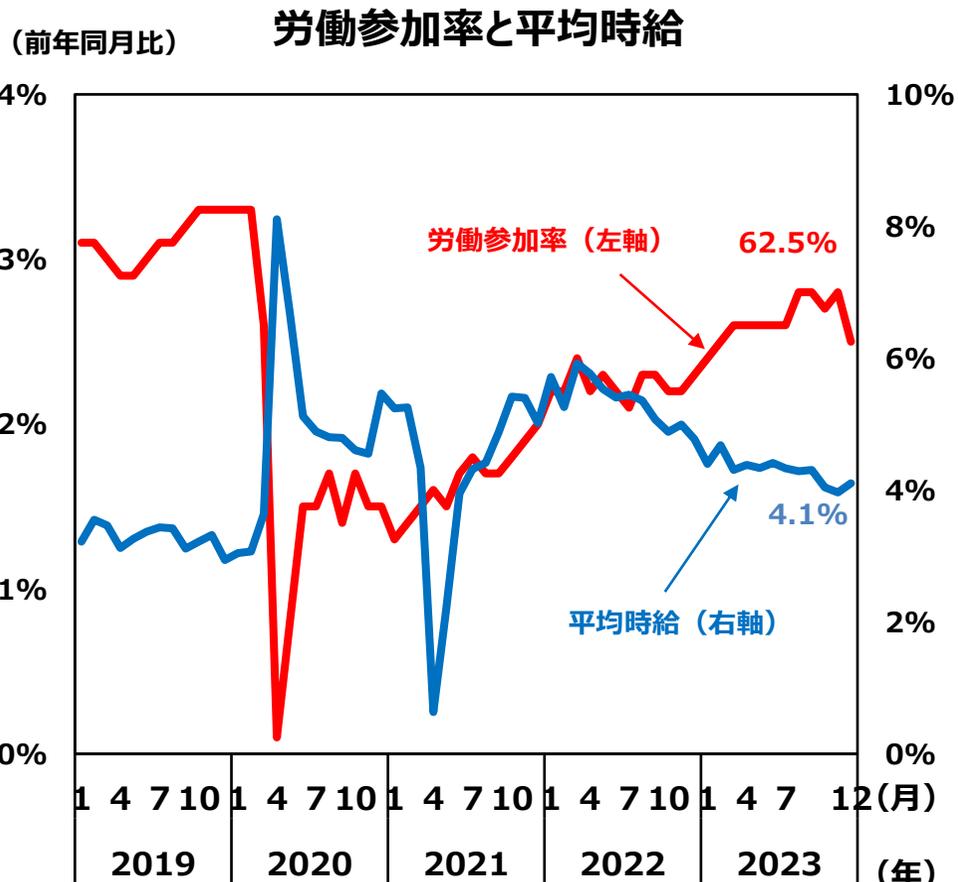
（資料）米労働省「卸売物価指数」2024年1月12日公表

# 米国 雇用

- 23年12月の非農業部門雇用者数は前月差+21.6万人と、前月（同+17.3万人）から増加幅を拡大。
- 失業率は3.7%と、前月（3.7%）から横ばい。
- 平均時給は前年同月比+4.1%となり、労働参加率は同62.5%となった。



(注) 季節調整値  
(資料) 米労働省 2024年1月5日公表



(注) 季節調整値  
(資料) 米労働省 2024年1月5日公表

日本經濟

米國經濟

中國經濟

歐洲經濟

# 中国 GDP

- 23年10-12月期の実質GDP成長率は、前年同期比+5.2%と前期（同+4.9%）から加速した。
- 23年通年の実質GDP成長率は前年比+5.2%。  
政府目標の「5%前後」は達成するも、ゼロコロナ政策で景気が低迷した22年からの反動増もあった。



(注) 総固定資本形成: 住宅投資、設備投資、公共投資などの固定資本の追加分。

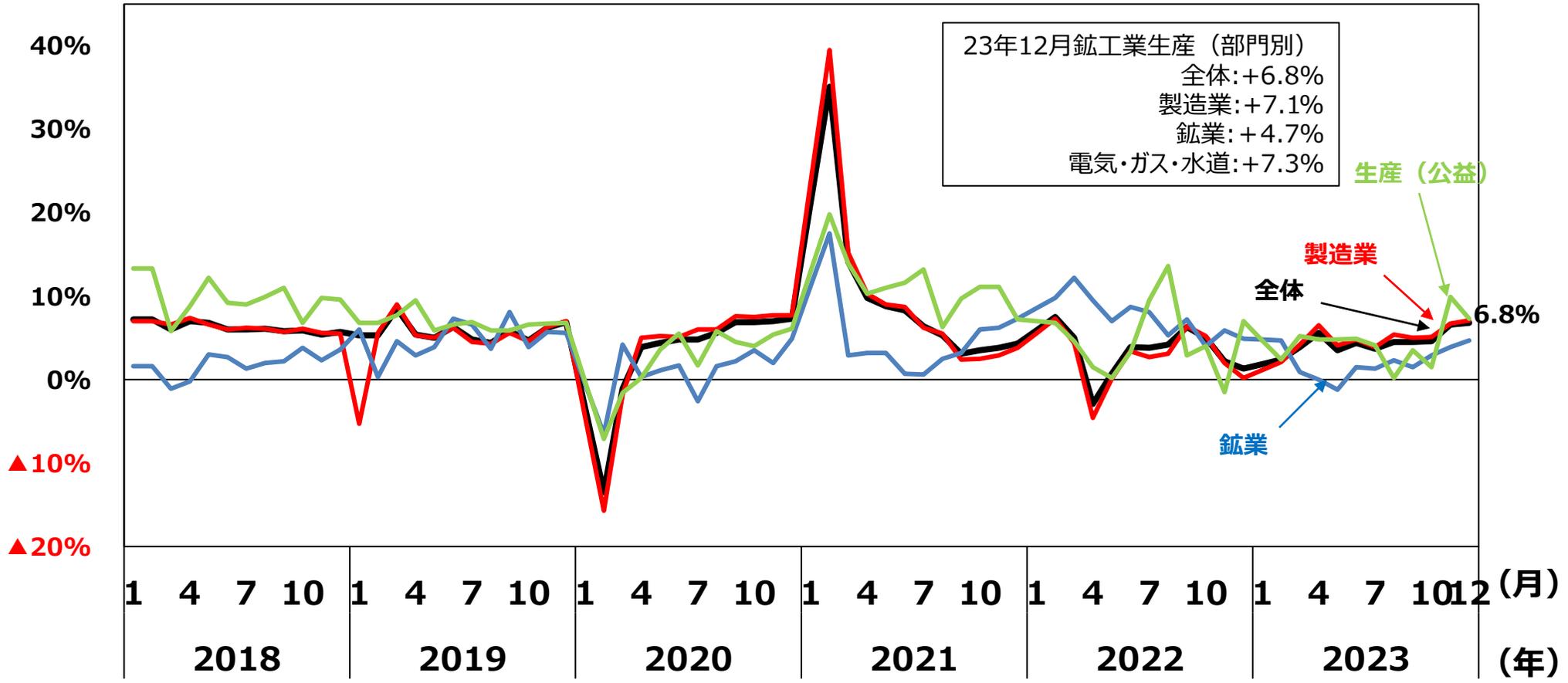
(資料) CEIC(中国国家统计局) 2024年1月17日公表

# 中国 生産

- 23年12月の鉱工業生産は、前年同期比+6.8%と前月（同+6.6%）から加速した。
- 製造業の生産は、前年同期比+7.1%（前月：同+6.7%）、鉱業は同+4.7%（前月：同+3.9%）と伸びが加速した。一方、電気・ガス・水道は同+7.3%（前月：同+9.9%）と、伸びが鈍化した。

(前年同月比)

## 鉱工業生産



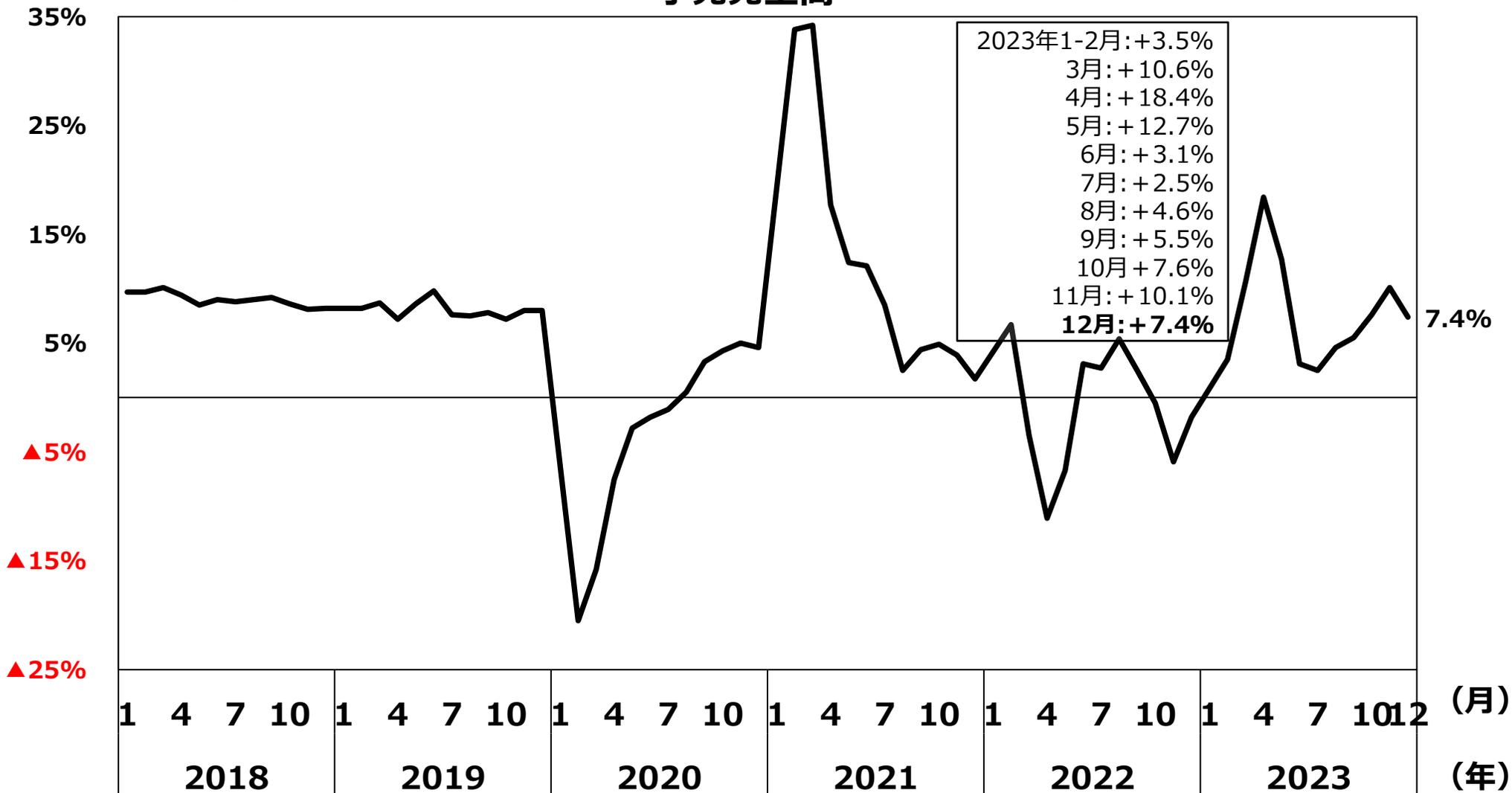
(資料) CEIC(中国国家统计局) 2024年1月17日公表

# 中国 消費

- 23年12月の名目小売売上高は、前年同月比+7.4%と、前月（同+10.1%）から伸びが鈍化。

(前年同月比)

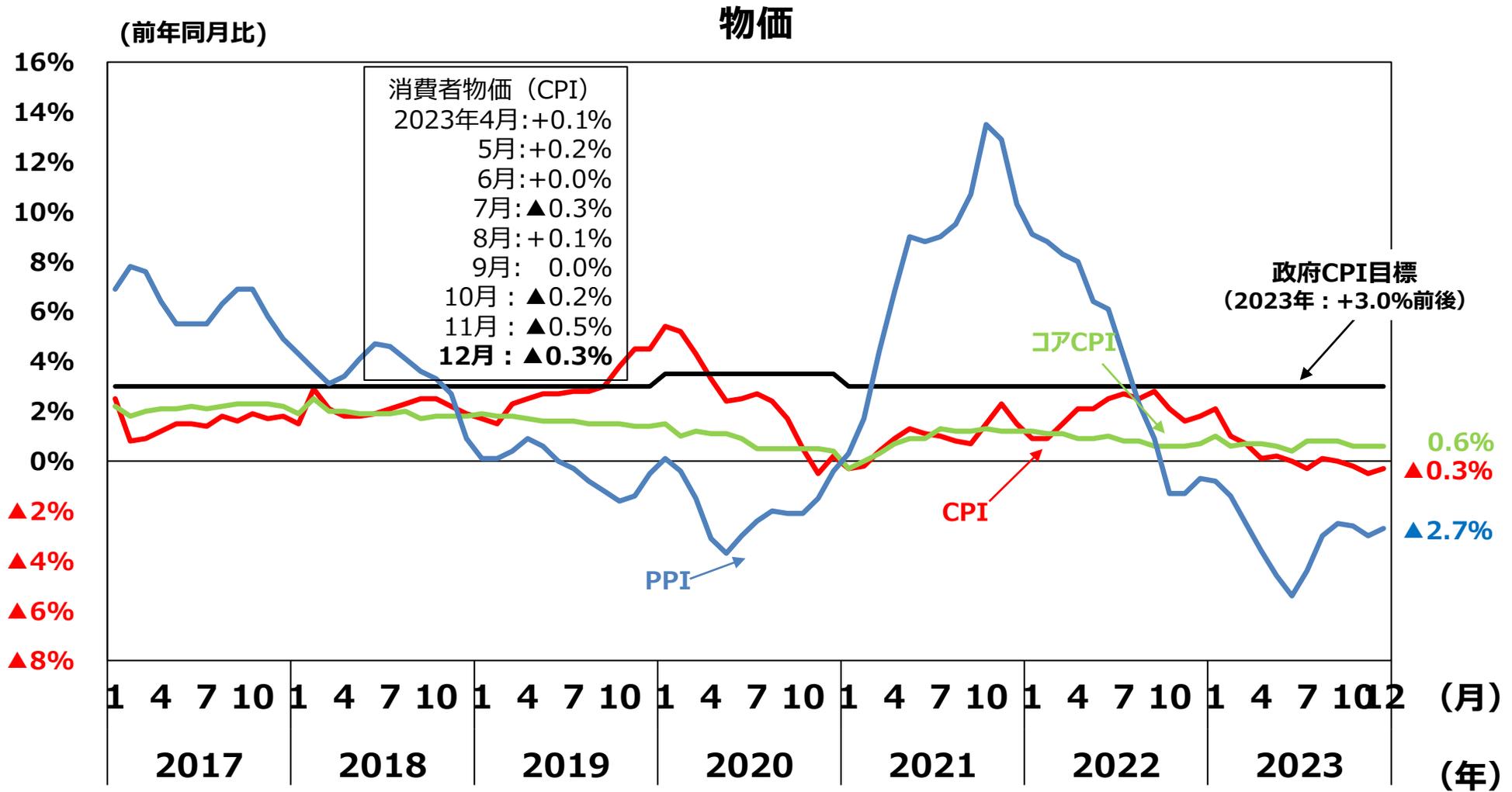
## 小売売上高



(資料) CEIC(中国国家统计局) 2024年1月17日公表

# 中国 物価

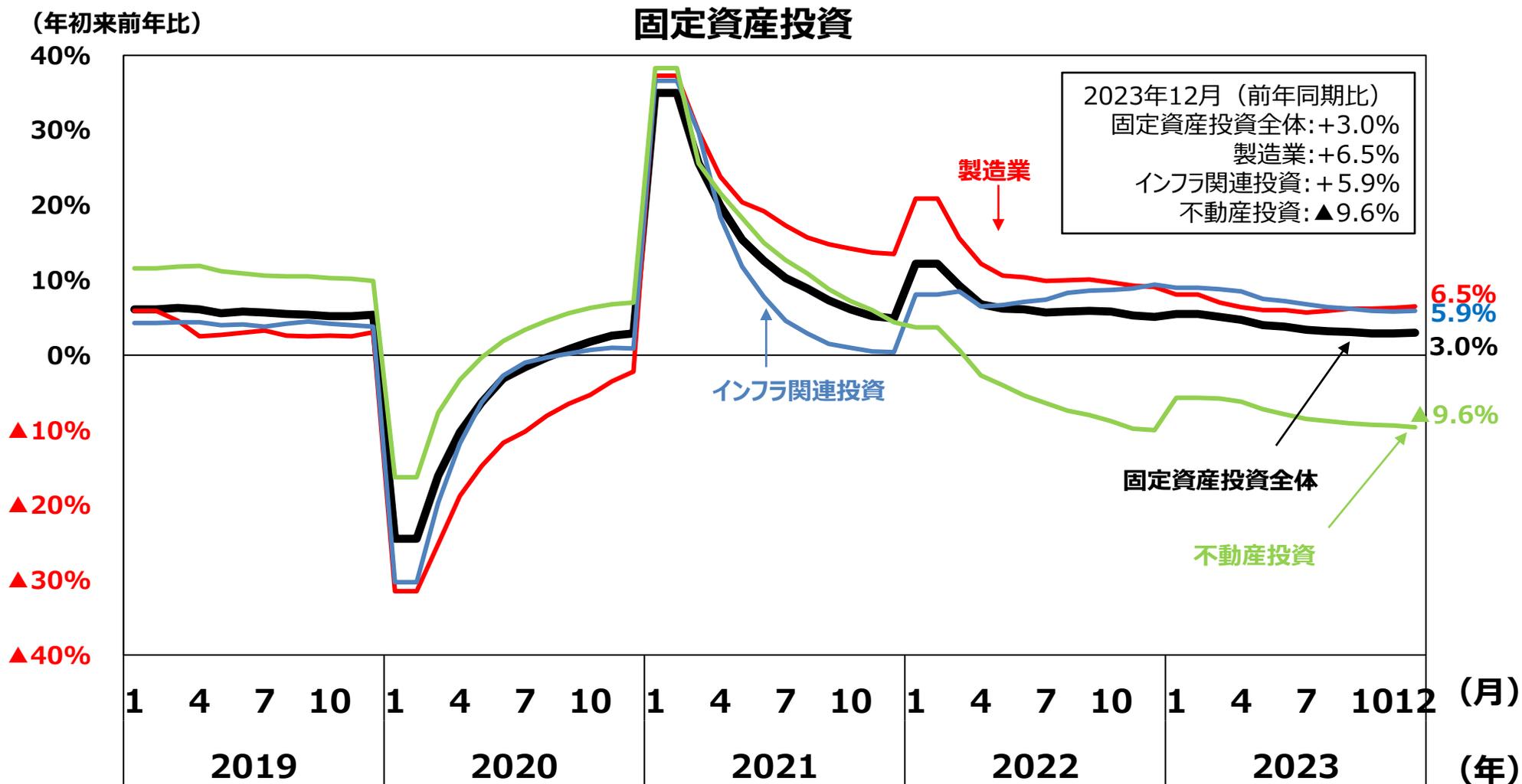
- 23年12月のCPI（消費者物価指数）は、前年同月比▲0.3%（前月：同▲0.5%）。
- PPI（生産者物価指数）は、前年同月比▲2.7%（前月：同▲3.0%）と15ヶ月連続のマイナスとなった。



(資料) CEIC (中国国家统计局) 2024年1月12日公表

# 中国 固定資産投資

- 23年12月の固定資産投資は年初来前年比（注）+3.0%と、前月（同+2.9%）から伸びが加速した。



(注) 年初来前年比：1月から当月までの累計の前年比  
 (資料) CEIC(中国国家统计局) 2024年1月17日公表

日本經濟

米國經濟

中國經濟

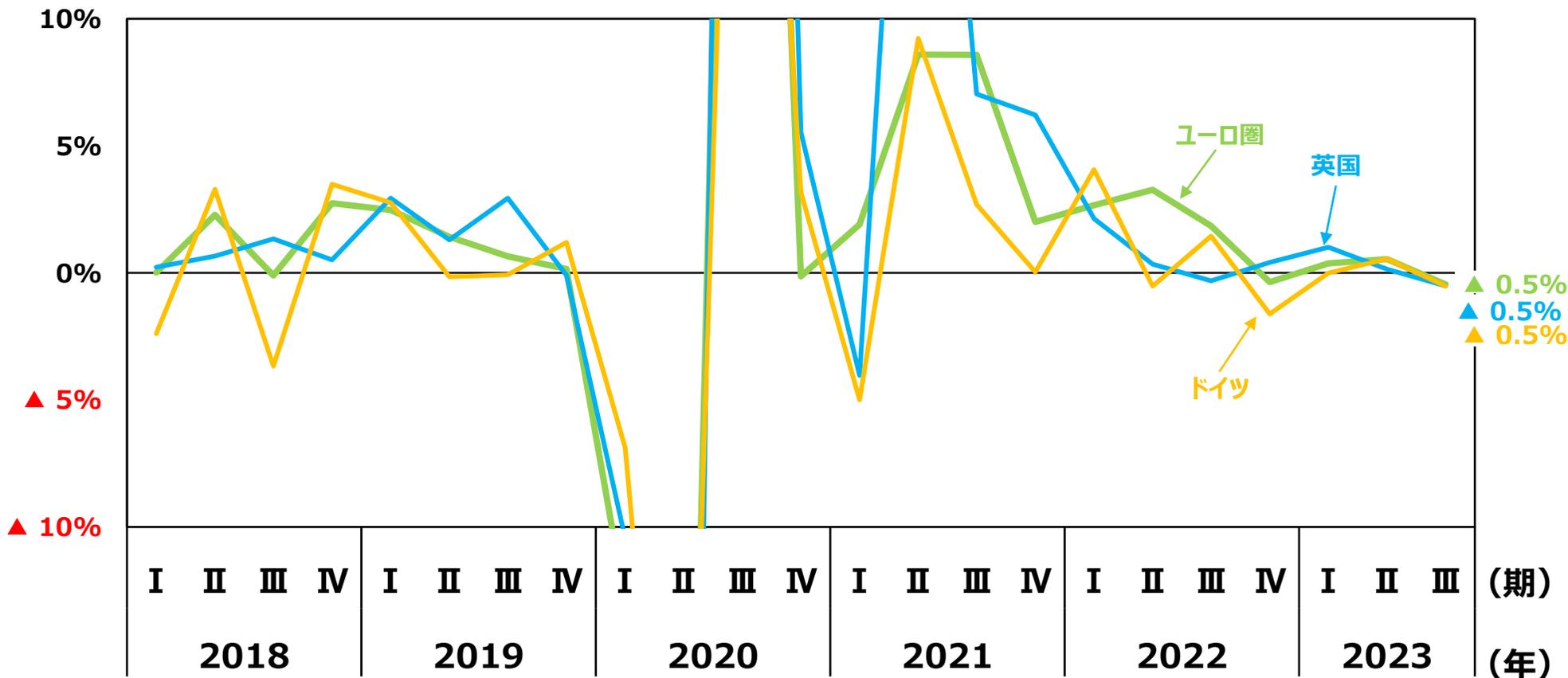
歐洲經濟

# 欧州 実質GDP成長率

- ユーロ圏の23年7-9月期GDP（確報値）は前期比年率▲0.5%と、3四半期ぶりのマイナス成長となり、ドイツ（確報値）も同▲0.5%と、3四半期ぶりのマイナス成長となった。
- 英国の23年7-9月期GDP（確報値）は前期比年率▲0.5%と、4四半期ぶりのマイナス成長となった。

(前期比年率)

## 実質GDP成長率

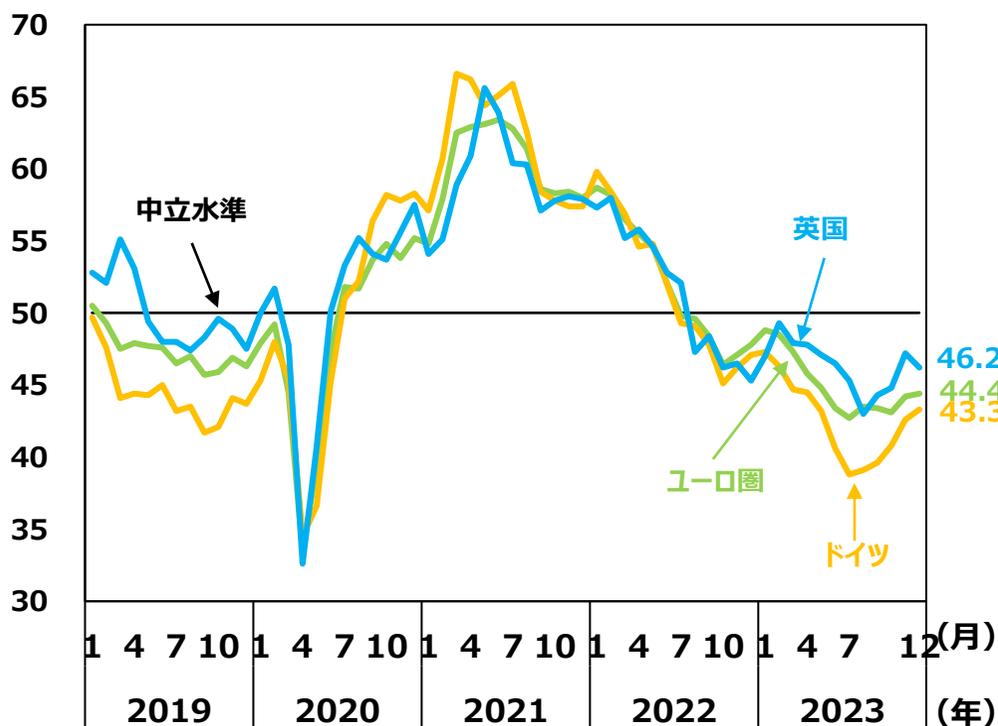


(資料) ユーロ圏：欧州委員会統計局 2023年12月7日公表（確報値）  
 英国：英国国家統計局 2023年12月22日公表（確報値）  
 ドイツ：ドイツ連邦統計局 2023年11月24日公表（確報値）

# 欧州 製造業・サービス業景況指数 (PMI)

- ユーロ圏の12月の製造業景況指数は、44.4と前月（44.2）から上昇。  
ドイツも43.3と、前月（42.6）から上昇。
- 英国の12月の製造業景況指数は、46.2と前月（47.2）から低下。
- ユーロ圏の12月のサービス業景況指数は、48.8と前月（48.7）から上昇。  
ドイツは49.3と、前月（49.6）から低下。
- 英国の12月のサービス業景況指数は、53.4と前月（50.9）から上昇。

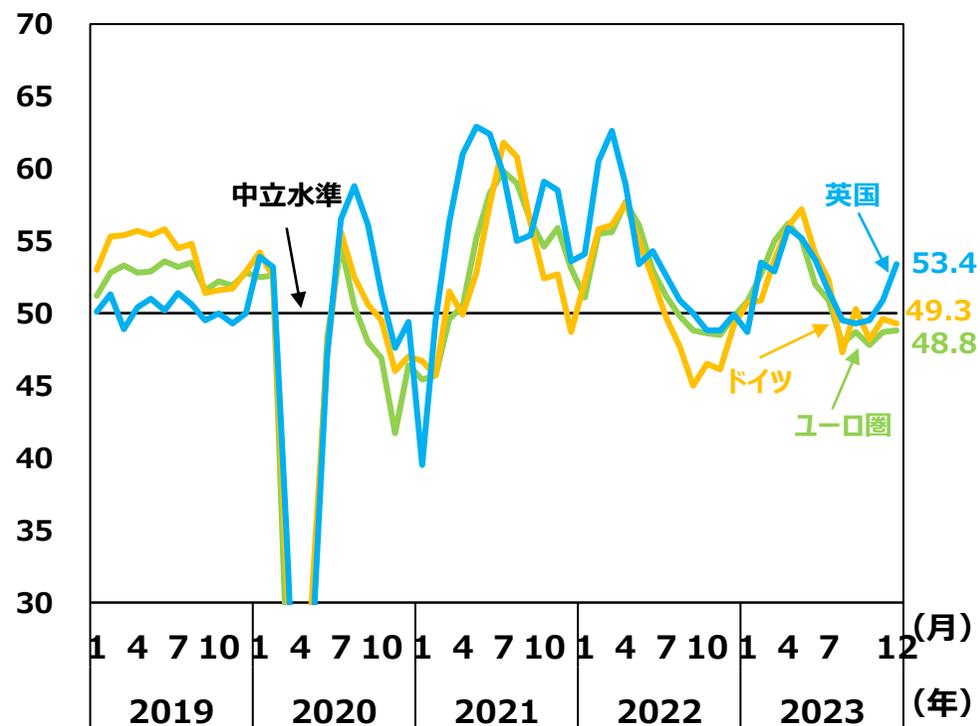
## 製造業景況指数



(注) 調査対象は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャの8か国（ユーロ圏の生産の約89%）。

(資料) S&P Global「Markit PMI」2024年1月2日公表（確報値）

## サービス業景況指数



(注) 調査対象は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャの8か国（ユーロ圏の生産の約89%）。

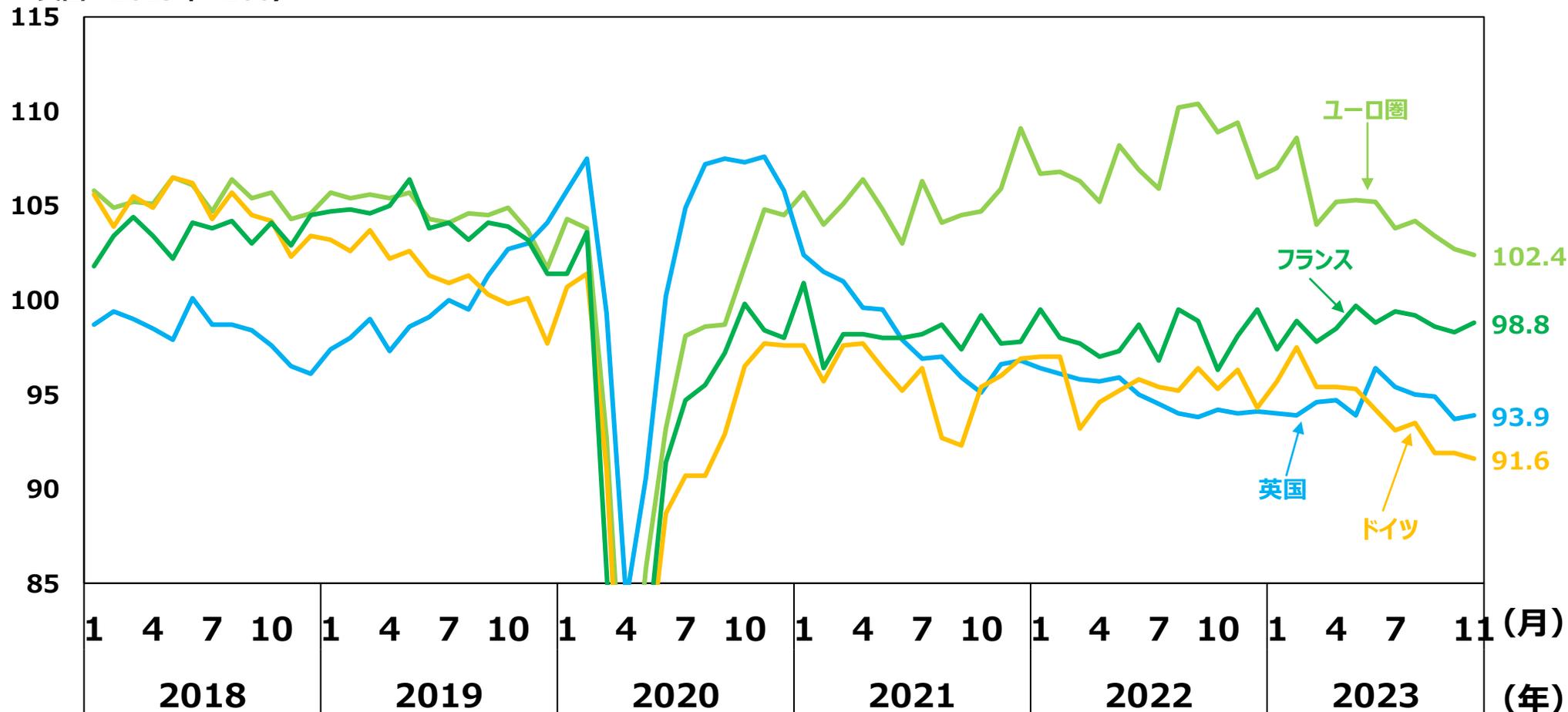
(資料) S&P Global「Markit PMI」2024年1月4日公表（確報値）

# 欧州 生産

- ユーロ圏の11月の鉱工業生産指数は前月比▲0.3%と、3ヶ月連続の低下。  
国別で見ると、ドイツは同▲0.3%と低下した一方で、フランスは同+0.5%と上昇。
- 英国の11月の鉱工業生産指数は前月比+0.3%と、5ヶ月ぶりの上昇。

(ユーロ圏・ドイツ・フランス：2015年=100、  
英国：2019年=100)

## 鉱工業生産



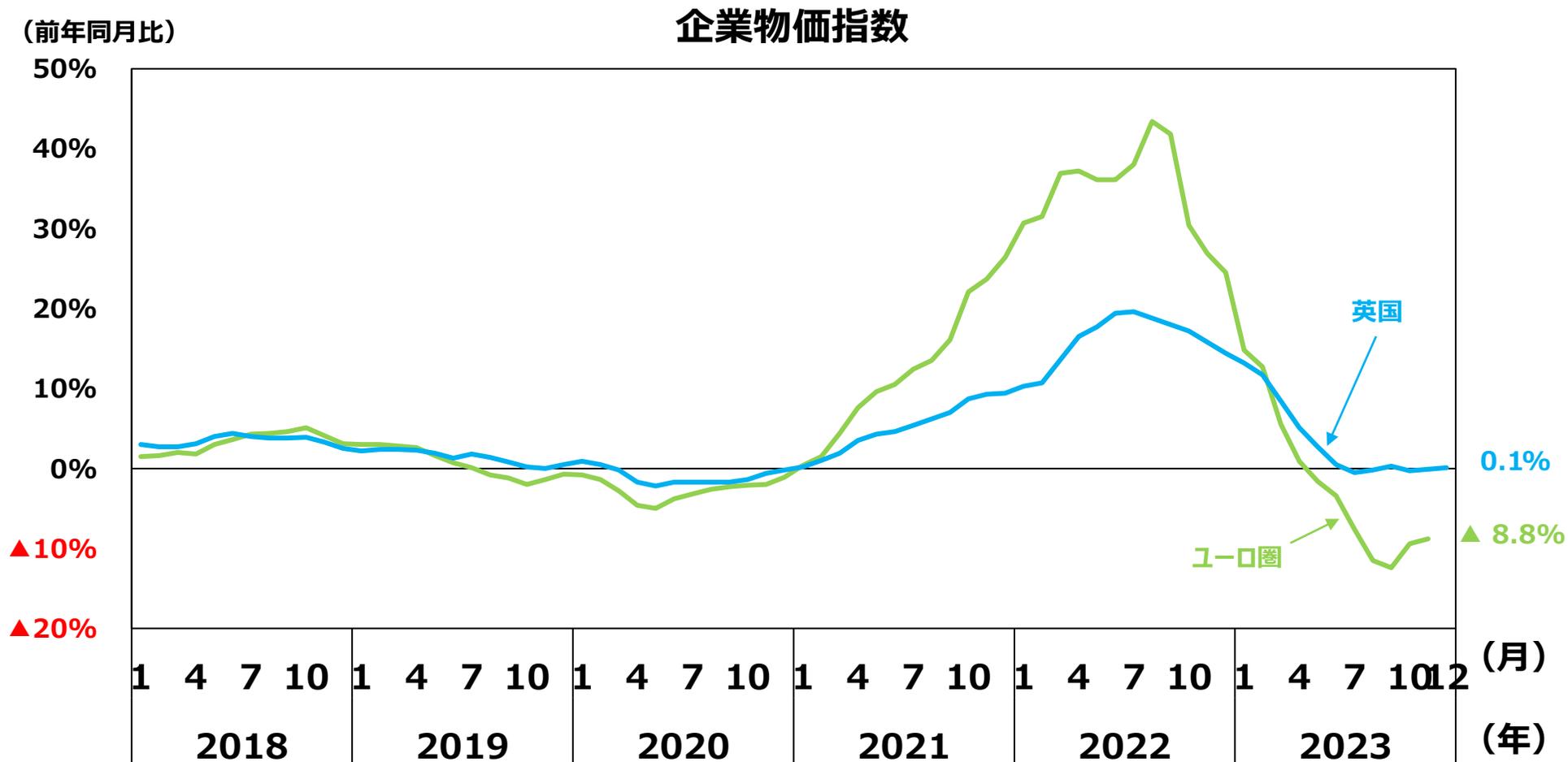
(注) 季節調整値

(資料) 欧州委員会統計局 2024年1月12日公表、英国国家統計局 2024年1月15日公表



## 欧州 物価②

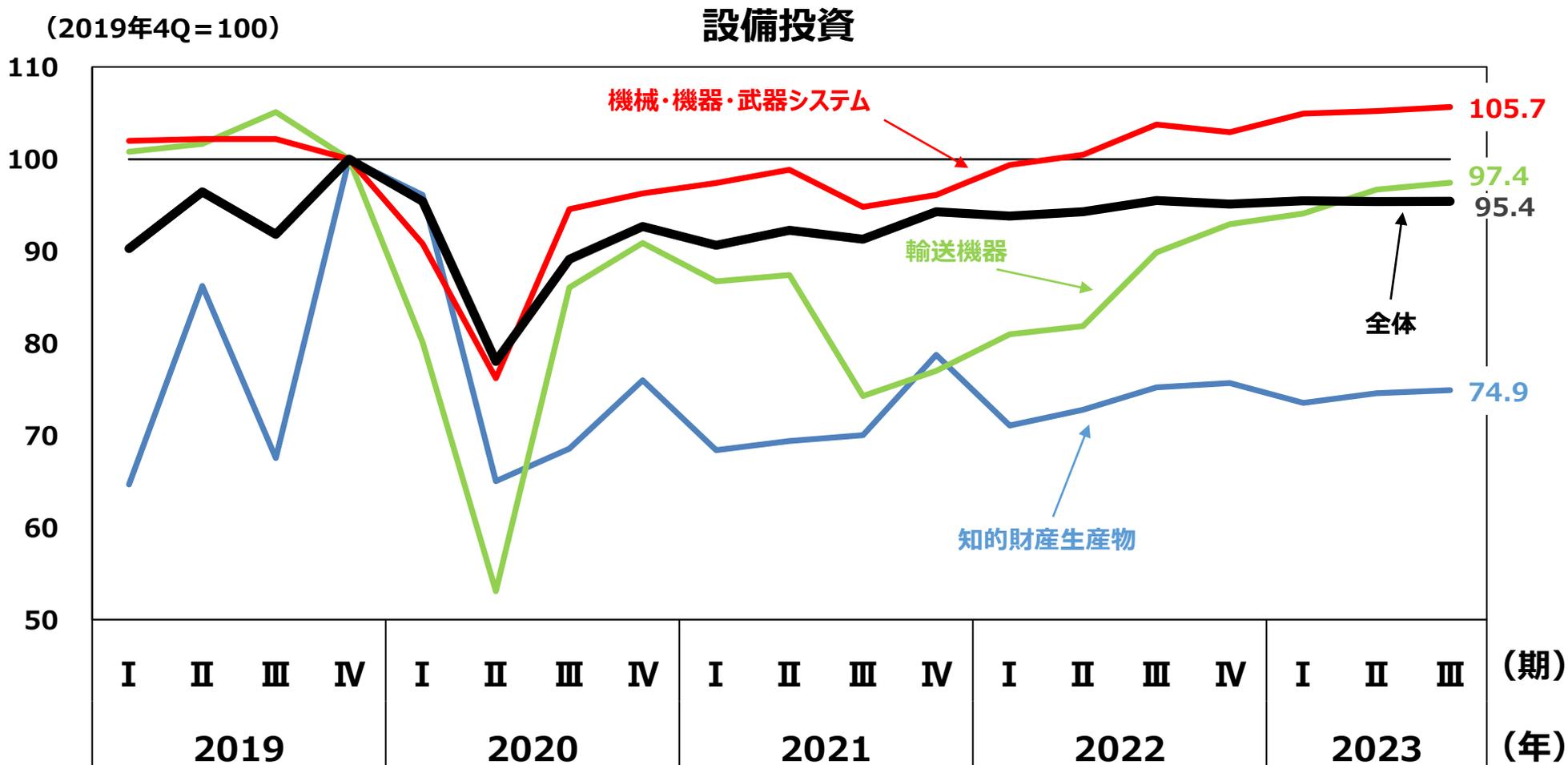
- ユーロ圏の11月の企業物価指数は、前年同月比▲8.8%（前月：同▲9.4%）と、伸びのマイナス幅が前月から縮小。
- 英国の12月の生産者物価指数（出荷）は、前年同月比+0.1%（前月：同▲0.1%）と、伸びが再びプラスに転じた。



(資料) 欧州委員会統計局 2024年1月5日公表  
英国国家統計局 2024年1月17日公表

# 欧州 設備投資

- 23年7-9月期の設備投資額は、コロナ禍前の19年10-12月期と比較すると、全体では▲4.6%。
- 分野別では、機械・機器・武器システムは+5.7%、輸送機器は▲2.6%、知的財産生産物は▲25.1%。



(注) 季節調整値

(資料) 欧州委員会統計局 2023年12月7日公表

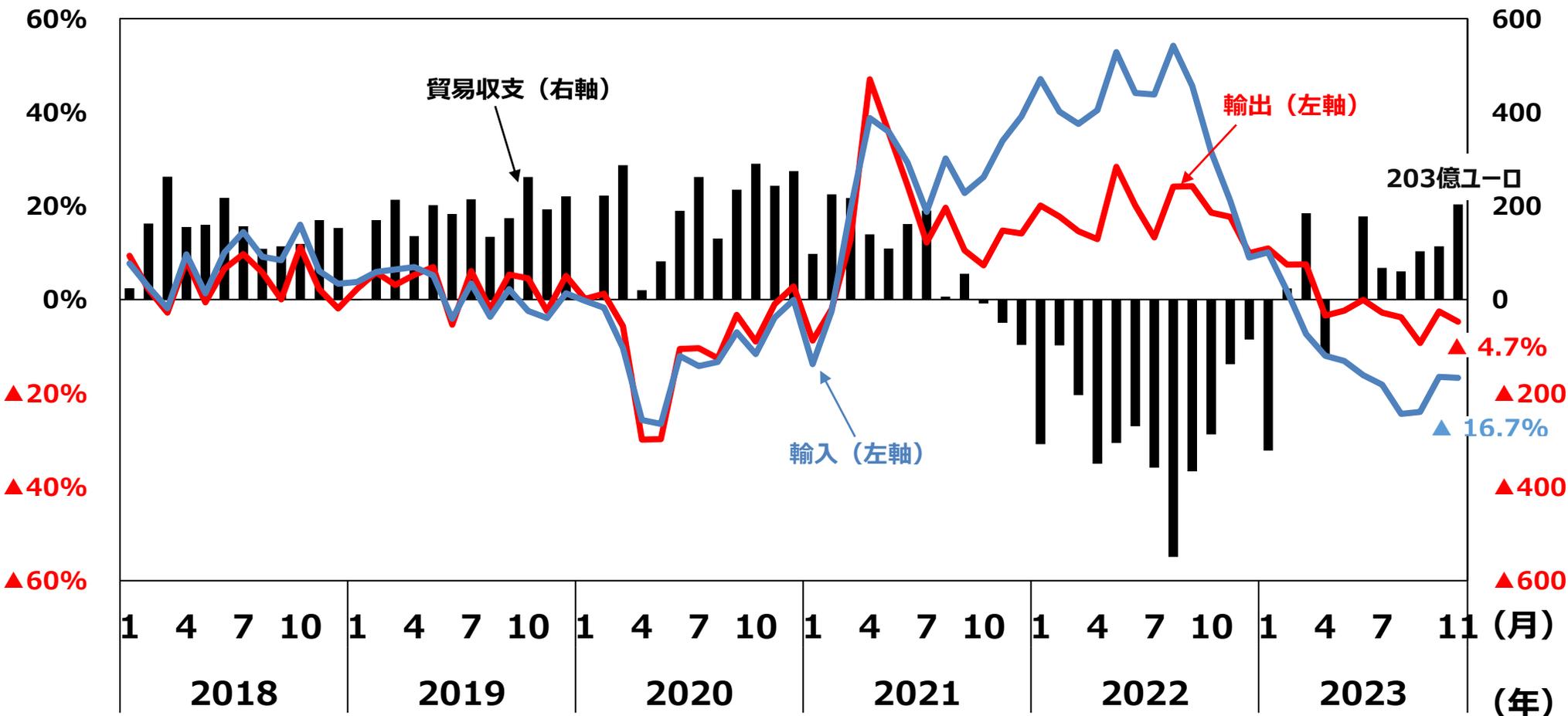
# 欧州 輸出入

- ユーロ圏の11月の輸出額（2,525億ユーロ）は、前年同月比▲4.7%、輸入額（2,322億ユーロ）は、同▲16.7%。
- 貿易収支は+203億ユーロと、7ヶ月連続の黒字。

(前年同月比)

## 貿易収支

(億ユーロ)

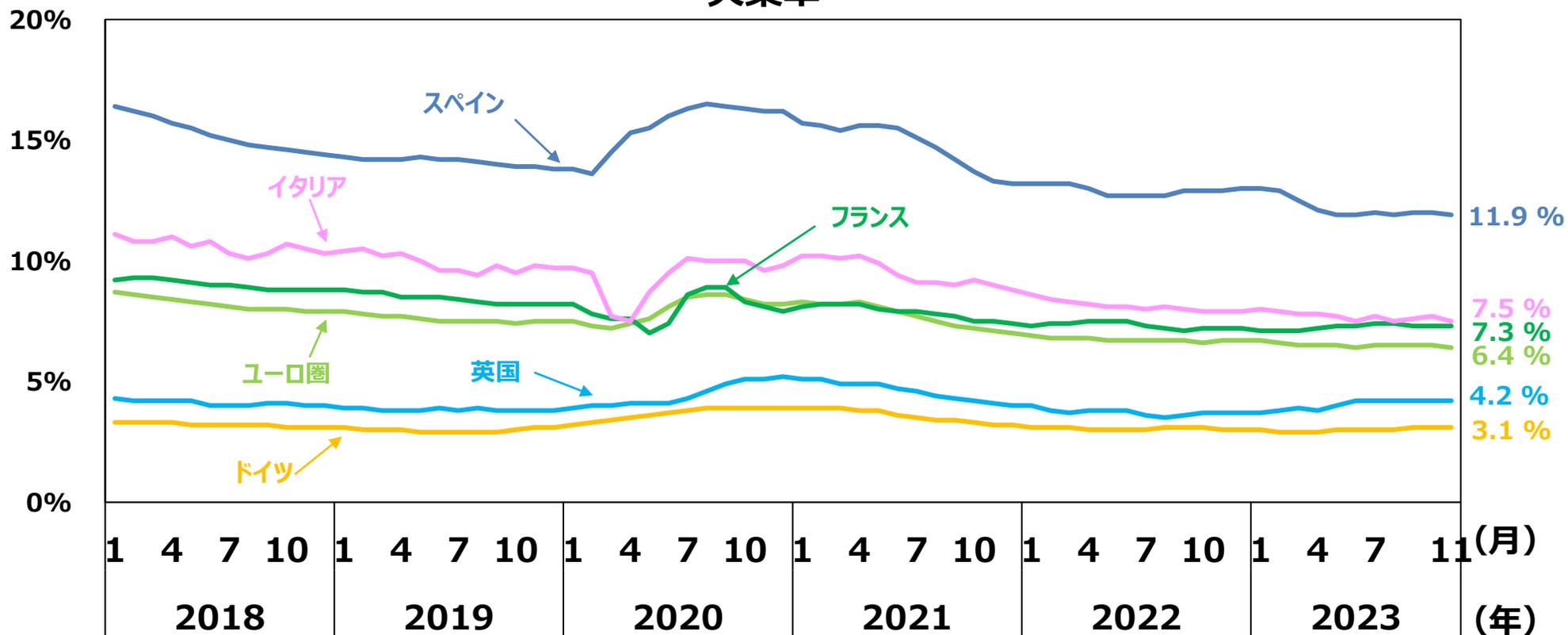


(資料) 欧州委員会統計局 2024年1月15日公表

# 欧州 雇用

- ユーロ圏の11月の失業率は6.4%と、前月（6.5%）から低下。
- 国別では、イタリア（7.7%→7.5%）、スペイン（12.0%→11.9%）は低下し、ドイツ（3.1%→3.1%）、フランス（7.3%→7.3%）は横ばい。
- 英国の11月の失業率は4.2%と、前月（4.2%）から横ばい。

## 失業率



(注) 英国のデータは給与と所得者数や失業保険申請件数で調整した実験統計ベースの数値。  
 (資料) ユーロ圏・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン：欧州委員会統計局 2024年1月9日公表  
 英国：英国国家統計局 2024年1月16日公表